令和元年度　社会福祉法人豊田市育成会

事 業 報 告 書

＜平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日＞

【目次】

社会福祉法人
豊田市育成会 ---------- 1

ジョイナスつかさ ---------- 18

ジョイナスさかえ ---------- 26

ジョイナスさかえ
西山公園 ---------- 30

ジョイナスふれあい ---------- 34

ジョイナスみさと ---------- 39

ジョイナスふれあい
鞍ヶ池公園 ---------- 44

ジョイナスえかく ---------- 49

ジョイナスたかおか
生活介護 ---------- 54

ジョイナスたかおか ---------- 58

ジョイナスたかおか
毘森公園 ---------- 62

地域生活支援センター ---------- 66

ヘルパーステーション ---------- 68

ひらしばの家 ---------- 70

社会福祉法人豊田市育成会

令和元年度事業報告書

【要旨】

令和元年度は、本人の権利や意思、嗜好などを尊重し、信頼感と安心感と笑顔のある関係づくりに努め、福祉サービスの満足度アップやワークライフバランスのとれた働きやすい職場づくり、そしてガバナンスの強化に努めてきました。

法人のガバナンスの強化では、引き続き、経営会議を始め会員や職員参加の部会会議や職員会議などを積極的に開催して、福祉サービス事業並びに福祉啓発事業の課題解決に向けて活発に議論してきました。

施設整備計画では、４月にジョイナスたかおかに生活介護を開設し多機能化での環境整備に努めてきましたが利用者の確保には至りませんでした。

また、公設の就労支援施設内に令和２年度ジョイナスえかく従たる事業所開設へ向けて、豊田市と調整を図りながら喫茶事業準備に取り組みました。

事業計画では、福祉サービス事業（事業体）と福祉啓発事業(運動体)を両輪として、平成 29 年度を初年度とした 3 年間の 3 項目 10 点の重点項目の下、「安心してすごせる」、「夢や願いがかなう」、「笑顔が絶えない」楽しい地域づくり、場づくりを進めてきました。

第１の福祉サービス事業（事業体）では、昨年、利用者が 6 人と減少した中で、利用者会議などを通して、本人の希望を尊重し、利用者さんの「やってみたい！」を応援しました。なかでもジョイナスつかさでは、農福連携での農業生産の場「つかさファーム」がスタートしました。また、グループホーム「ひらしばの家」では、利用者、職員共にグループホームの生活にも慣れ、開設 3 年目を迎えました。当育成会ならではの会員による応援隊 4 名の活動や毎月の利用者会議開催など利用者主体で活動してきました。

また、ヘルパーステーションでは、相談支援専門員や他事業所と綿密な連携により効果的支援につなげましたが、サービス提供量は前年の 93%でした。前年に引き続きヘルパーの確保が難しく恒常的な活動時間の減少になりました。

地域生活支援センター(特定相談支援事業所)でのサービス等利用計画策定でも、相談支援専門員や他事業所と綿密な連携により 145 件の計画策定及びモニタリング 156 回を実施し、家庭訪問や三者面談を通して福祉サービスの利用調整を適切に行いました。

作業売上は、前年度に比べ 1,388 千円余の増収となりました。利用者平均月額工賃は前年度に比べ 21 円増の 13,843 円を支払うことが出来ました。

また、ジョイナスつかさ移行支援事業では 2 人、就労継続支援 B 型事業所ジョイナスさかえからは１人が就職し、事業開始以来、延べ 51 人(うち 12 人は再就職)が企業などに就職し、35 人が引き続き定着しています。

第２の福祉啓発事業(運動体)では、広報誌「育成会だより」の年４回発行(3,500 部/１回)や

地域住民との交流イベントふれあい交流会(391 人)を開催し、市民への理解活動に努めました。
支部活動では、会員総会(59 人)や新成人のつどい(91 人)を支部長会中心で開催し、厳粛な中にも華やかな成人式を開催することができました。各支部の単独行事は５支部で 12 回(延べ 270 人)開催されました。
広報自主事業部会レクリエーション委員会が担当するバス旅行では、大井川鐵道＆春華堂ビュッフェニコエの旅に会員 83 人が参加して会員間の絆を深めました。
「音楽療法」「フライングディスク」「きずなっくす」「POP‘S」「ありのまま合唱団」の各クラブ員(57 人)が講師や家族の応援の下、毎週定期的に活発な活動を展開しました。また、工場見学、紙ヒコーキ大会やおいでん花火大会観賞の行事を実施し 127 人の参加で本人同士の親睦や交流を深めました。
6 年目の青年学級では、市青少年センターを拠点に、フラダンス、絵画、クラフトのコース活動と身近なものを利用したモノづくり講座等のクラス活動で新しい体験を通して多くのことを学びました。会員以外の本人も対象として年間 19 回延べ 538 人の参加がありました。
広報自主事業部会企画委員会では、会員理事との共催による会員対象とした「育成会を知ろう」研修会(14 人)や成年後見制度の勉強会(16 人)を実施し、会員の理解活動促進に努めました。

第３の各事業共通の第 1 点目「職員のスキルアップを図る」では、職員採用の困難の中 3 人の新卒職員と 2 人の福祉経験者を採用しました。また、豊田市育成会人材育成(キャリアパス)規程による目標管理制度の徹底と人事考課を実施しました。研修体系による法人内外での各種研修への積極的な参加で職員全員参加の職員研修を定期的に年 11 回開催すると共に外部の専門研修に、延べ 101 人職員平均 1 人当たり年 2.3 回の参加で専門知識の習得に心がけました。また、管理者及び主任を対象に階層別研修を行いました。
職員のメンタルヘルスでは、臨床心理士にメンタルヘルスカウンセリングを今年もお願いして実施し、正規職員で 15 人が活用しました。職員の処遇面では、給与のベースアップ及び賞与の増額により職員の就業意欲の向上と生活の安定を図りました。
次に「情報の共有化と事業連携の強化」では、ジョイナスでのクラブ活動、本人活動を通した本人中心の行事や発表会の開催、事業部会での重点項目の進捗度把握や事業計画づくり、個別支援計画部会でのサービスガイドラインの検証、個別支援計画一連の様式の見直し、行事部会でのハレハレハイキングや楽楽運動会の見直し開催、セルプ部会での新たな請負やバザーなどの協働によるジョイナス間の連携強化や備品設置等に取り組んできました。
「地域への見える化」では、会員総会にてスローガンを決定し、昨年同様に「私たちは、本人の権利を守る(権利擁護)を第一に行動していきます。」「私たちは、本人が地域で暮らし続けるための制度やサポートの整備を行政など関係機関に働きかけていきます。」を掲げました。地域との交流をはじめ、育成会だよりやジョイナス通信、会員だよりの発行、SNS 更新、ホームページのリニューアル等を通してアクセス数の増加につなげると共に、地域清掃活動や交通安全立哨活動など社会貢献活動等も実施しました。
最後に、収支決算の黒字化は引き続き維持できました。しかし、制度の変更や利用者減による訓練給付費収入の減少、職員処遇改善による人件費比率の上昇が考えられます。今後は、一層の経費の節減に努めると共に事業所の利用定員を下回っている利用者の増加を図ることが急務となっています。
こうした年間の事業実施に際しまして、正会員、賛助会員をはじめ幅広い皆様からの温かいご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

1　理事会・評議員会の開催及び監査の実施

(1)理事会の開催

第 1 回 5 月 25 日（土）	議案第 1 号	理事・監事の推薦及び監事の同意について
	議案第 2 号	平成 30 年度事業報告について
	議案第 3 号	平成 30 年度決算(計算書類及び財産目録)報告及び監査報告について
	議案第 4 号	定時評議員会の招集について
	報告事項⑴令和元年度新規採用職員募集について 報告事項⑵社会福祉充実残額について 平成 29 年度～令和 3 年度社会福祉充実計画の終了	
第 2 回 6 月 15 日（土）	議案第 5 号	理事長及び常務理事の選定について
	議案第 6 号	部会長等の選定について
	議案第 7 号	評議員会の招集について
第 3 回 9 月 28 日（土）	議案第 8 号	給与規程の一部改正について
	議案第 9 号	経理規程の一部改正について
	議案第 10 号	令和元年度 9 月補正予算について
	議案第 11 号	評議員会の招集について
	報告事項⑴事業活動報告(4 月～8 月)について 報告事項⑵平成 30 年度皆勤者、精勤者の表彰について 報告事項⑶中核拠点施設等用地取得断念について 報告事項⑷職員採用について 報告事項⑸各部会及び外部会議等の活動報告について	
第 4 回 12 月 21 日（土）	議案第 12 号	評議員選任候補の推薦について
	議案第 13 号	職員給与規程の一部改正について
	議案第 14 号	令和元年度 12 月補正予算について
	議案第 15 号	評議員会の招集について
	報告事項⑴事業活動報告(9 月～11 月)について 報告事項⑵各部会及び外部会議等の活動報告について	
書面議決 第 5 回 3 月 19 日（木）	議案第 16 号	ジョイナスえかく事業運営規程の一部改正について
	議案第 17 号	共同生活援助事業運営規程の一部改正について
	議案第 18 号	経理規程の一部改正について
	議案第 19 号	令和 2 年度事業計画について
	議案第 20 号	令和 2 年度当初予算について
	議案第 21 号	評議員会の招集日の変更について
	報告事項⑴令和 2 年度職員体制について 報告事項⑵事業活動報告(12 月～2 月)について	

（2）評議員会の開催

定時（第1回） 6月15日（土）	議案第1号	理事・監事の選任について
	議案第2号	平成30年度事業報告について
	議案第3号	平成30年度決算（計算書類及び財産目録）報告及び監査報告について
	報告事項⑴令和元年度新規採用職員募集について 報告事項⑵社会福祉充実残額について 平成29年度～令和3年度社会福祉充実計画の終了	
第2回 9月28日（土）	議案第4号	給与規程の一部改正について
	議案第5号	経理規程の一部改正について
	議案第6号	令和元年度9月補正予算について
	報告事項⑴事業活動報告（4月～8月）について 報告事項⑵平成30年皆勤者、精勤者の表彰について 報告事項⑶中核拠点施設等用地取得断念について 報告事項⑷職員採用について	
第3回 12月21日（土）	議案第7号	職員給与規程の一部改正について
	議案第8号	平成30年度12月補正予算について
	報告事項⑴事業活動報告（9月～11月）について	
書面議決 第4回 3月28日（土）	議案第9号	ジョイナスえかく事業運営規程の一部改正について
	議案第10号	共同生活援助事業運営規程の一部改正について
	議案第11号	経理規程の一部改正について
	議案第12号	令和2年度事業計画について
	議案第13号	令和2年度当初予算について
	報告事項⑴事業活動報告（12月～2月）について	

（3）評議員選任・解任委員会の開催

第1回 2月7日（金）	議案第1号	評議員の選任について

（4）監査の実施

監査実施日	監事名	監査項目
5月15日（水）	森島監事 中田監事	法人定款第11条第1項の規定に基づき、平成30年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産状況の監査
10月16日（水）	市福祉部 総務監査課職員	社会福祉法人・施設等指導監査（法人本部）
		指定障がい福祉サービス事業者等の実地指導監査 （育成会ヘルパーステーション・ジョイナスつかさ）
2月19日（水）		共同生活援助事業の実地指導監査（ひらしばの家）

2　会員総会

6月22日（土） （参加者59名）	議題1 報告第1号	平成30年度事業報告
	〃　報告第2号	平成30年度決算報告
	〃　報告第3号	令和元年度福祉啓発事業計画
	〃　報告第4号	令和元年度福祉啓発事業予算
	議題2	平成元年度会員活動目標（スローガン）について
	会員研修会	「豊田市育成会施設整備計画進捗状況について」
		①豊田市育成会中核拠点施設について
		②「南部就労支援施設喫茶事業」の準備状況について

3　事業運営

事業種別＼期間	平成31年4月～令和2年3月
法人運営（経営会議）	・評議員1名の辞任に伴い、評議員選任解任委員会を開催し後任評議員を選任（任期は前任者の在任期間） ・経営会議開催（年9回）施設整備計画中核拠点施設（案）、法人運営の課題等
第2種社会福祉事業	①障害福祉サービス事業（就労移行支援）の運営（定員6名） ②障害福祉サービス事業（就労継続支援Ｂ型）の運営（定員145名） ③障害福祉サービス事業（生活介護）の運営（定員6名） ④障害福祉サービス事業（居宅介護、移動支援）の運営 ⑤障害福祉サービス事業（特定相談支援、障がい児相談支援）の運営 ⑥障害福祉サービス事業（共同生活援助）の運営（定員6名）
公益事業	①福祉啓発事業 ②相談事業

4　会員入会状況

（1）支部別（実家庭）

（令和2年3月末現在・単位：世帯）

支部名	中　央	上　郷	高　岡	猿　投	高　橋	計
世帯数	58	32	15	32	45	182

（2）療育手帳（本人）

（単位：名）

判定区分	A	B	C	計
人 数	105	62	18	185

（兄弟含む）

5　就労支援事業（就労移行支援、就労継続支援Ｂ型）

（1）個別支援計画の策定

・サービス等利用計画に基づき、利用者本人（保護者）の意向や希望、特性等を踏まえ137名の平成31年度個別支援計画を策定

作成書類：アセスメントシート・平成31年度個別支援計画の評価、面談記録等
令和2年度個別支援計画

・サービス管理責任者を中心に個別支援計画等策定部会の開催、各ジョイナス事業所でのケース検討会議等を毎月実施し、支援計画のより着実な取組みを図った。

(2) 工賃向上の取組み

・毎月、SELP 部会(目標工賃達成指導員)を開催し、工賃向上計画 3 年の進捗状況等の情報共有、連携した外部からの委託業務受注など安定した仕事の確保に努めた。
・自主製品の調査、新製品開発、商品改良に取り組んだ。
・自主製品の委託販売先やバザー等の出店により、新規・既存販路の拡大や確保に努めた。

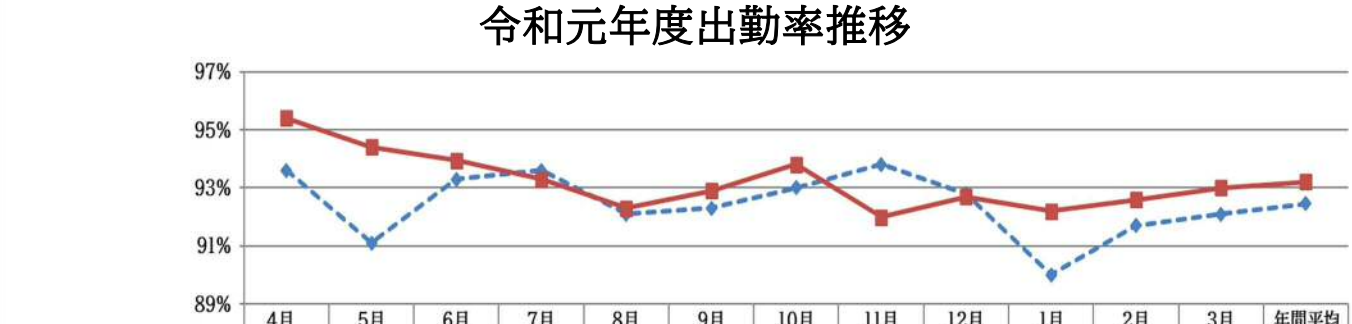
(3) 虐待防止の取組み

・サービスガイドラインの遵守
・権利擁護、虐待防止研修会の実施
・各事業所での虐待防止委員会定例開催
・虐待防止セルフチェックシートによる自己点検

(4) 合同事業等

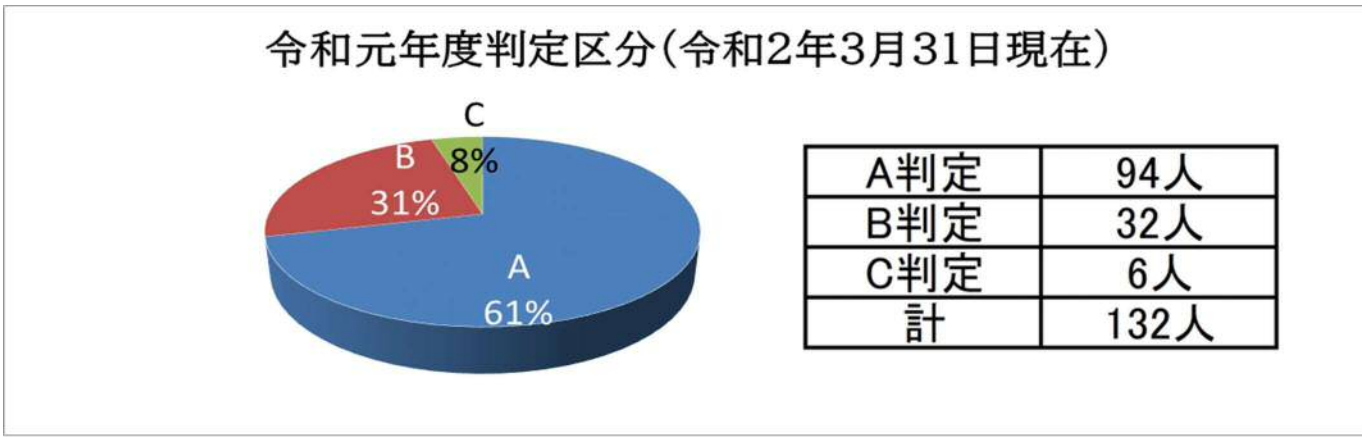
入所式／4 月 1 日(月)　各事業所／新入所者 8 名
ハレハレハイキング／5 月 11 日(土)野外民族博物館リトルワールド／参加者 186 名
楽楽運動会 9 月 15 日(土)豊田市運動公園体育館／参加者 317 名

(5) 利用者の状況



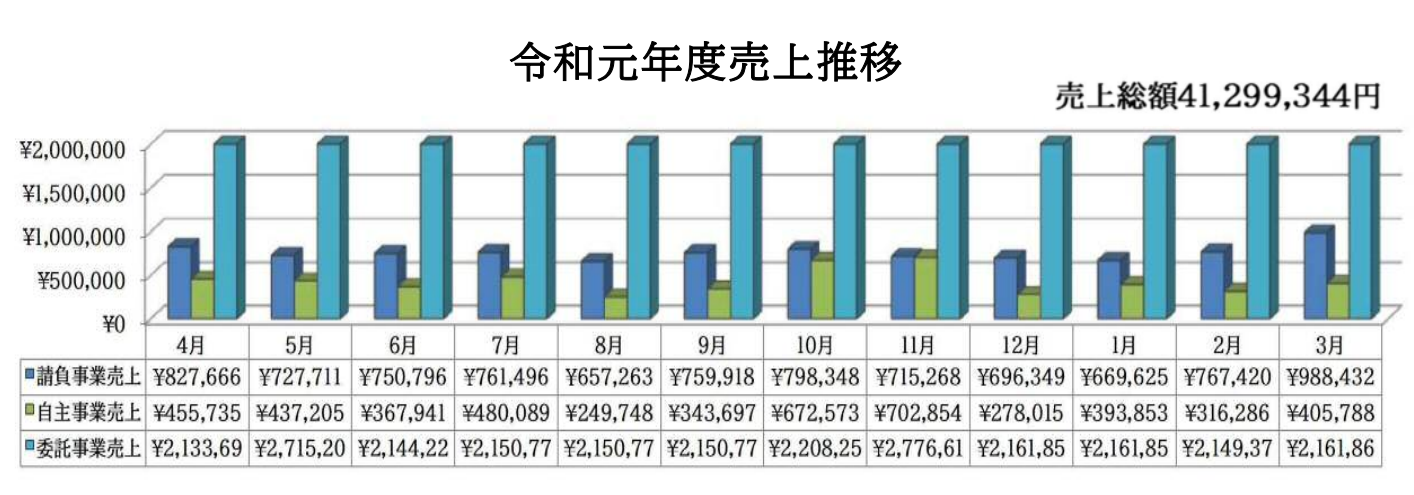
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
平成30年度出勤率推移	93.6%	91.1%	93.3%	93.6%	92.1%	92.3%	93.0%	93.8%	92.8%	90.0%	91.7%	92.1%	92.5%
令和元年度出勤率推移	95.4%	94.4%	93.9%	93.3%	92.3%	92.9%	93.8%	92.0%	92.7%	92.2%	92.6%	93.0%	93.2%

(6) 判定区分



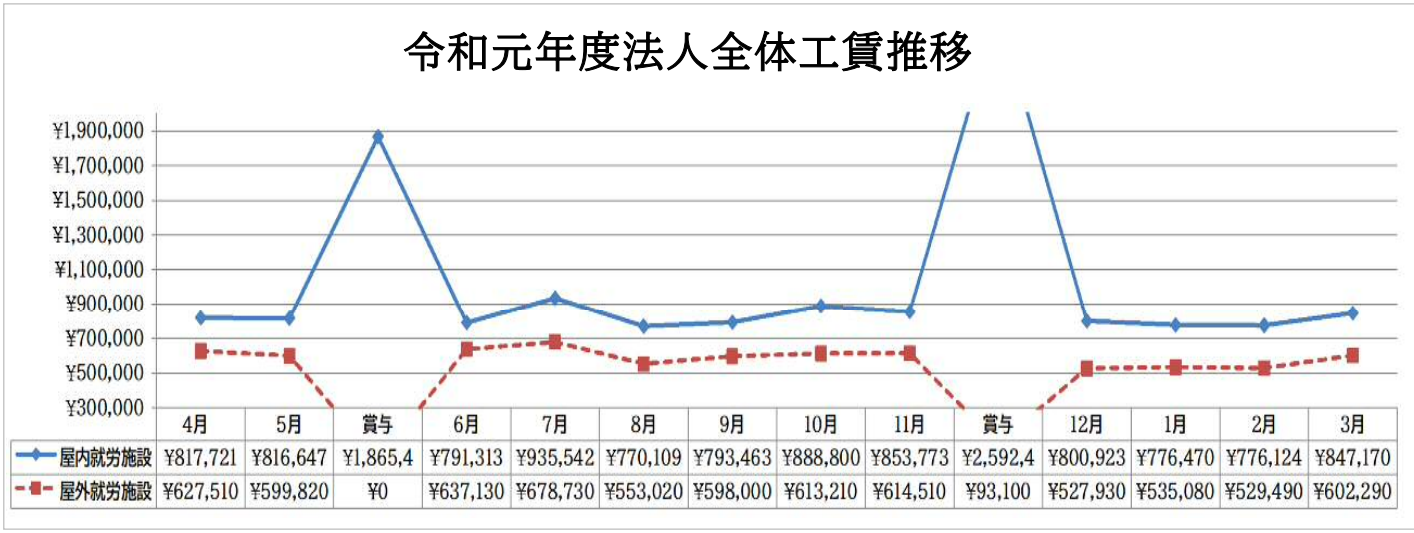
A判定	94人
B判定	32人
C判定	6人
計	132人

（7）年間売上推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請負事業売上	¥827,666	¥727,711	¥750,796	¥761,496	¥657,263	¥759,918	¥798,348	¥715,268	¥696,349	¥669,625	¥767,420	¥988,432
自主事業売上	¥455,735	¥437,205	¥367,941	¥480,089	¥249,748	¥343,697	¥672,573	¥702,854	¥278,015	¥393,853	¥316,286	¥405,788
委託事業売上	¥2,133,69	¥2,715,20	¥2,144,22	¥2,150,77	¥2,150,77	¥2,150,77	¥2,208,25	¥2,776,61	¥2,161,85	¥2,161,85	¥2,149,37	¥2,161,86

（8）工賃実績推移



	4月	5月	賞与	6月	7月	8月	9月	10月	11月	賞与	12月	1月	2月	3月
屋内就労施設	¥817,721	¥816,647	¥1,865,4	¥791,313	¥935,542	¥770,109	¥793,463	¥888,800	¥853,773	¥2,592,4	¥800,923	¥776,470	¥776,124	¥847,170
屋外就労施設	¥627,510	¥599,820	¥0	¥637,130	¥678,730	¥553,020	¥598,000	¥613,210	¥614,510	¥93,100	¥527,930	¥535,080	¥529,490	¥602,290

各事業所の内容については 18 ページ以降に掲載

6　相談支援事業（障害児相談支援事業、指定特定相談支援事業）

（1）サービス等利用計画の策定

・ジョイナス利用者、その他育成会会員の契約利用者（約 130 名）からの依頼により、家庭訪問・三者面談・再アセスメント、障がい福祉サービス事業所と連携し、サービス等利用計画の継続更新策定・変更を（145 件）、モニタリング（156 件）を実施。

（2）まとめ

・サービス等利用計画策定について、利用者さんやご家族の希望される障がい福祉サービス利用の為、無理のない目標設定により作成している。
・個別支援計画等策定部会（毎月）にて、相談支援より連絡・情報等の共有。
・相談支援会議を隔月、又は随時行い、相談支援に関する連絡・事例紹介・情報の共有などを行った。
・豊田市地域自立支援協議会の相談支援部会（各ブロックサポート連絡会）へ参加。
・相談支援従事者研修参加、外部研修（相談支援に関する研修・虐待防止、権利擁護、成年後見人制度研修・発達障がい相談支援者研修など）随時参加。

（3）課題

・福祉サービス事業所（施設入所・短期入所・グループホーム・移動支援など）の空きがない、支援員の不足で利用できないなどがあり社会資源が限られる中での情報提供、事業所の選択になり希望する利用ができないことがある。

・福祉サービスの受給申請をしているが利用されていない方、介護判定を受けた方の介護サービスの利用についても、今後の必要性について確認し利用を勧めていく。

※内容については 66 ページに掲載

7　居宅介護・移動支援事業（ヘルパーステーション）

（1）個別支援計画の策定

・三者面談を行い、個別支援計画を策定した。

（2）課題

・豊田市役所感染予防課より講師を派遣して頂き、感染症予防の研修を行った。
インフルエンザの予防だけではなく、新型コロナウィルス肺炎感染の予防にも役立つ内容であった。

・ヘルパー不足の中、新規利用者 1 名と契約を結ぶことができた。

（3）課題

・ヘルパーの減少、ヘルパーの活動時間減少により、対応の難しい利用者さんへの支援提供が難しくなっている。支援を提供できている利用者さんも、今までのような支援提供は難しく、一人当たりの支援時間減少を余儀なくされている。

・新型コロナウィルス肺炎感染症の終息が見られず、今まで通りの支援提供では、利用者やヘルパーへの感染リスクが高まるため、自粛や時間短縮等が必要になっている。

※内容については 68 ページに掲載

8　共同生活援助事業（グループホーム）

（1）個別支援計画の策定

・入居者の方の個別面談を実施。ニーズをお伺いしサービス等利用計画の内容との整合を図り、6 名の個別支援計画を策定した。

（2）まとめ

・利用者会議で要望のあった買い物体験を毎月行い、嗜好品や日用品を購入できるようにした。

・夕食後にリビングルームで他の利用者の方と一緒にテレビを見たりパズルをしたりする等団らんの時間を楽しまれる様子が見られるようになった

（3）課題

・利用者の方で料理を身に着けたいと希望されている方がみえるので、計画を立てて行っていけるようにする

・クリスマス会や誕生会等の行事の企画や準備、進行、片づけを利用者の方中心に行えるようにする。

※内容については 70 ページに掲載

9　福祉啓発事業

（1）事業内容

内容		日時	場所	参加者数
主催	新会員向け研修会	5 月 26 日（日）	育成会本部多目的室	39 名
	バス旅行	10 月 6 日（日）	大井川鐵道他	83 名
	ふれあい交流会	12 月 8 日（日）	西部コミュニティセンター	391 名
	新成人のつどい	1 月 20 日（日）	西部コミュニティセンター	91 名
本人活動	工場見学	4 月　6 日（日）	モンテール美濃加茂工場	49 名
	豊田おいでん花火大会	7 月 28 日（日）	白浜公園	招待 11 組 26 名
	紙ヒコーキ大会	8 月 18 日（日）	西部コミュニティセンター	52 名
	市障がい者作品展	11 月 30 日（土）～12 月 8 日（日）	豊田市美術館	出展作品 18 点
	青年学級	19 回／年（仲間づくり、ものづくり体験他）		延参加者 538 名
支部活動	会員総会	6 月 22 日（土）	育成会本部多目的室	59 名
	各支部活動(5 支部)	12 回/年　（懇親会、イベント他）		延参加者 270 名

（2）諸会議・クラブ開催

会議名		委員数	開催回数（開催日）	内容
本人委員会		19 名	4 回	クラブ活動、青年学級の状況・活動報告。工場見学、紙ヒコーキ大会など行事に関する話し合い
企画委員会		8 名	10 回	・成年後見制度等に関する勉強会の開催。 ・新会員研修会の実施サポート
広報委員会		6 名	14 回	育成会だより第 33 号～第 37 号の発行（企画・調査、編集、印刷、配布）
レクリエーション委員会		8 名	13 回	バス旅行、ふれあい交流会の企画、実施
支部長会		22 名	9 回	各支部活動報告、会員総会、ふれあい交流会、新成人のつどい等行事に関する話し合い
本人活動	音楽療法「りず夢」	6 名	第 2・4 土曜	個人・グループ形態での身体・歌唱・楽器活動等
	フライングディスク	9 名	第 1・3 土曜	県大会への出場、定期練習他
	きずなっくす	6 名	第 3 土曜	体操・ゲームなど親子で楽しめる活動の実施
	POP’S	15 名	第 1 土曜	ふれあい交流会でのダンス発表、定期練習他
	ありのまま合唱団	21 名	不定期	ふれあい交流会、新成人のつどいでの歌唱発表、定期練習、団員募集活動他
外部	自立支援協議会		年 4 回	・ライフサポートプラン 2015 の推進 ・支援協議会の共働について等
	就学支援委員会		年 3 回	対象児童生徒等の就学に関する意見交換
	社会福祉協議会評議員会		年 4 回	社会福祉協議会事業計画、予算等
	福祉事業団評議員会		年 4 回	福祉事業団事業計画、予算等

10　職員配置状況

（H31 年 4 月現在・単位：人）

項目		本部		就労移行支援		就労継続支援B型		生活介護		共同生活援助		相談支援		居宅介護（移動）		福祉啓発	計	
施設長	常勤	1															1	-
事務局長	常勤		(1兼)														0	(1兼)
管理者	常勤				(1兼)	4	(1兼)		(1兼)		(1兼)		(1兼)		(1兼)	1	5	(6兼)
副管理者	常勤	1			(1兼)	1											2	(1兼)
サービス管理責任者	常勤				(1兼)	3	(2兼)		(1兼)		(1兼)						3	(5兼)
主任	常勤	2			(1兼)	2	(2兼)										4	(3兼)
相談支援専門員	常勤											1	(5兼)				1	(5兼)
サービス提供責任者	常勤													1	(1兼)		1	(1兼)
相談支援員	常勤												(1兼)				0	(1兼)
事務員	常勤	2													(1兼)		2	(1兼)
支援員	常勤			2		23		1			(1兼)						26	(1兼)
	臨時			1		9				1	(3兼)						11	(3兼)
世話人	臨時									6							6	-
ヘルパー	常勤														(1兼)		0	(1兼)
	臨時													5			5	-
嘱託医	臨時							1									1	-
看護師	臨時							1									1	-
常勤計		6	(1兼)	2	(4兼)	33	(5兼)	1	(2兼)	0	(6兼)	1	(7兼)	1	(4兼)	1	45	(29兼)
臨時計		0		1		9		2		7	(3兼)	0		5		0	24	
合計		6	(1兼)	3	(4兼)	42	(5兼)	3	(2兼)	7	(9兼)	1	(7兼)	6	(4兼)	1	69	(29兼)

11　人事労務・給与制度等

人事労務管理	・人材育成(キャリアパス)規程の推進 ・目標管理の徹底と人事考課制度運用開始
給与制度	・職員給与規程の一部改正し基本給の引上げ及び賞与月数の見直し ・福祉・介護職員処遇改善加算の確保に伴う賃金改善の実施
職員福利厚生	・職員に対する定期健康診断の実施 ・主任以下職員対象のメンタルヘルスカウンセリングの実施 ・職員互助会活動の推進 ・福利厚生センター「ソウェルクラブ」へ継続加入

12　職員研修

（1）法人内研修

研修内容	開催日	講　師
接遇及び目標管理シート、人事考課について 新人接遇研修	4 月 26 日(金)	株式会社シノハラ 篠原 正行　氏
労務管理について	5 月 24 日(金)	社会保険労務士・中小企業診断士 近藤 法政　氏
加齢に伴うからだの動きの変化と対応	6 月 28 日（金）	障がい者総合支援センター暖 作業療法士　中野 祐　氏
個別支援計画について 評価基準(ストレングス)を見て	7 月 26 日（金）	育成会職員 個別支援計画策定部会
発達を支援するレクリエーション ～発達と遊びと原始反射～	8 月 23 日(金)	おぐろ整体院一歩 小黒 康之　氏
アサーション ～自他尊重の自己主張～	9 月 27 日（金）	臨床心理士 都築 有紀子 氏
工賃向上対策について ～上半期レビュー～	10 月 25 日(金)	育成会職員 (目標工賃達成指導員)
自立支援給付費請求書を学ぶ	11 月 29 日(金)	育成会職員 (本部事務局)
サービスガイドラインについて	1 月 24 日（金）	育成会職員 (個別支援計画策定部会)
令和 2 年度事業計画について	2 月 21 日（金）	育成会職員 (事業計画策定部会)
令和 2 年度新規採用職員研修	3 月 26 日(木) 3 月 31 日(火)	育成会職員（施設長他）
階層別社内研修	12 月 13 日(金) 1 月 31 日（金）	社会保険労務士・中小企業診断士 近藤 法政　氏

（2）法人外研修・行政説明会への参加

研修内容		開催日	主催者	参加人数
福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程	チームリーダー研修過程	9 月 3 日（火） 9 月 4 日（水）	県社協	1 名
		9 月 26 日（木） 9 月 27 日（金）		1 名
	中堅職員研修過程	10 月 16 日(水) 10 月 17 日(木)		2 名
	初任者研修過程	11 月 13 日(水) 11 月 14 日(木)		3 名

相談支援従事者研修 （初任者研修）	合同講義	8 月 20 日（火） 8 月 21 日（水）	愛知県	2 名
	全体演習	9 月 6 日（金）		
	地区別演習	10 月 9 日(水) 11 月 5 日(火) 11 月 6 日(水)		
サービス管理責任者研修	基礎研修 合同講義	10 月 7 日（木）	愛知県	4 名
	基礎研修 講義・演習	10 月 28 日(月) 10 月 29 日(火)		
		12 月 3 日（火） 12 月 4 日（水）		1 名
	相談支援従事者 初任者研修	9 月 24 日(火) 9 月 25 日(水)		2 名
サポート連絡会（北部）		4 月 24 日（水） 他 17 回	市地域自立支援協議会	1 名
サポート連絡会（中部）		6 月 19 日（水） 他 4 回		3 名
豊田市障がい福祉サービス事業者の情報交換会		5 月 16 日（木）	市福祉部障がい福祉課	2 名
障がい者(児)福祉関係職員基礎研修		6 月 5 日（水）	県社協	4 名
応急手当講習(救命入門コース)		6 月 19 日（水）	市中消防署	6 名
障がい者支援研修会 ～強度行動障がいの基礎知識～		6 月 19 日（水） 9 月 25 日（水）	市福祉事業団	3 名 4 名
人材育成のためのアンガーマネジメントとコミュニケーション研修		6 月 27 日（木） 6 月 28 日（金）	県社協	4 名
社会福祉施設職員セミナー(職員の接遇)		7 月 2 日（火）	県社協	3 名
指導監査に対応するための業務改善		8 月 2 日（金）	TKC 全国会 社会福祉法人経営研究会	1 名
食品衛生責任者養成講習会		8 月 21 日（水）	市保健部保健衛生課	1 名
福祉・介護の職場環境改善研修		8 月 22 日（木） 他 2 回	県社協	4 名
相談・面接技術向上研修		8 月 27 日（火） 8 月 28 日（水）	県社協	2 名
就業支援基礎研修		9 月 5 日（木） 他 2 回	県障害者職業センター	1 名
社会福祉法人会計基準実務研修会		9 月 10 日（火）	県社協	1 名

目的に合わせたレクリエーション構築研修	9 月 11 日（水） 9 月 12 日（木）	県社協	2 名
労務管理・法律問題実務研修会	10 月 1 日（火）	県社協	2 名
情報交換会	10 月 8 日（水）	けやきワークス	1 名
工賃向上セミナー	10月25日(金) 12月10日(火)	愛知県	1 名
社会就労センター部会施設長・管理者等研修会「消費税増税したからわかること！今だから学べる対応と実務について」	10月28日(月)	県社協	1 名
グループホーム見学会	11月12日(火)	グループホーム フットパスⅡ	1 名
てんかんについて ～病態・治療とその副作用～	11月20日(水)	市福祉事業団	3 名
障がい者虐待対応研修	11月22日(金)	市保健センター	1 名
共生型短期入所、受け入れ研修会	11月27日(水)	社会福祉法人旭会 くらがいけ	6 名
社会福祉事業所による苦情解決制度受付担当者会議	12 月 9 日（月）	県社協	1 名
防火管理・防災管理講習	1 月 16 日（木） 1 月 17 日（金）	日本防火・防災協会	1 名
社会福祉事業者による苦情解決制度推進研修会	1 月 17 日（金）	県社協	1 名
障がい者児事業所職員スキルアップ研修	1 月 23 日（木）	県社協	3 名
TEACCH プログラム研修会愛知支部講習会「自閉症スペクトラムの治療現場から思うこと」	1 月 25 日（土）	刈谷市	1 名
発達や知的に障がいのある人たちの性と生について学ぼう　vol.2	2 月 9 日（日）	自立生活センター十彩	1 名
食品衛生責任者講習会	2 月 19 日（水）	岡崎市	1 名

13　諸会議の開催

会議名（委員数）	主催者	開催月
就労支援施設等運営委員会（21 名）	施設長	年 3 回（6 月、11 月、2 月）
ヘルパー会議（12 名）	管理者	毎月第 3 火曜日
管理者会（18 名）	施設長	毎月第 1 水曜日
個別支援計画等策定部会（8 名）	〃	毎月第 2 火曜日
行事計画部会（11 名）	〃	毎月第 1 火曜日

事業計画策定部会（12 名）	〃	毎月第 3 火曜日
SELP（セルプ）部会（9 名）	〃	毎月第 3 火曜日
喫茶部会	〃	毎月第 1 木曜日
保健安全会（7 名）	事務局長	毎月第 4 火曜日
WEB（IT）委員会（6 名）	〃	毎月第 3 木曜日
職員互助会役員会（6 名）	〃	毎月第 3 金曜日
職員会議	各管理者	各事業所月 1～2 回

14　財務・事務管理

情報公開	①現況報告書(平成 31 年 4 月 1 日現在)をホームページに公表 ②法人フェイスブックや各事業所「新着情報」の書き込みを増やすなど、ホームページによる情報提供を充実した。アクセス数 14,967 件（令和元年度中） ③広報誌「育成会だより」を年 4 回（7 月・9 月・12 月・3 月の各 1 日）発行。発行部数 3,500 部 ④「会員だより」を毎月発行 ⑤各事業所でパンフレットの作成や「事業所だより」発行
個人情報保護と共有	①個人情報保護規程に基づき、利用者等関係者の個人情報保護に努め、利用者のサービス向上に必要な情報を本人の同意を得て関係者間で共有した。 ②個人番号および特定個人情報等を規程に基づき適正に管理した
苦情対応	苦情対応規程に基づき各事業所に苦情受付担当者及び責任者を配置し、利用者等の苦情に迅速に対応した。
業務の効率化 コスト削減	光熱水費をはじめ、法人の全業務について見直し、業務の効率化・コスト削減に努めた。
契約の公正・透明性の確保	経理規程に基づき、契約事務を適切かつ効率的に取り組んだ。
事務管理の適正化	①パソコン充足率 100%により事務の均一化に努めた ②書類等の整備・管理のため、事務局員による各事業所点検の実施 ③WEB 委員による社内文書様式の見直しを図った
寄付・寄贈	①㈱都筑様より菓子（40,000 円相当） ②服部㈱様より幟・手旗（53,340 円相当） ③大豊工業(株)部長会様より新成人への祝い品（8000 円相当） ④豊田法人会七州支部様より 100,000 円(ふれあい交流会 400 名分のお菓子代に充当) ⑤その他個人 1 名

15　施設設備管理業務

施設設備の整備	①つかさ食堂ＩＨコンロ取替え ②えかく窓ガラス修理 ③えかく雨漏り修理 ④えかく男子トイレ便器修理 ⑤えかく浄化槽ポンプ取替 ⑥たかおか駐車場アスファルトめくれ修理 ⑦たかおか消防署直通電話設置 ⑧ひらしばの家居室網戸交換、壁部分修理
施設設備の保守点検委託業務	①エレベーター（リモート点検毎月、技術員点検 2 回、法定検査 2 回） ②防災設備（法定点検 2 回） ③空調設備（法定点検 4 回） ④電気設備（法定点検 6 回） ⑤建物定期点検 ⑥えかく浄化槽（保守点検 3 回）
施設設備の管理業務	①床ワックスがけ（本部、つかさ/年 1 回） ②樹木の剪定、除草（つかさ、えかく、たかおか/年 1 回～3 回） ③ごみ・廃棄物処理（ごみ回収各施設毎週 1 回・産廃回収年 2 回） ④各ジョイナス保護者会による清掃活動等

16　事故等報告件数

件数	項目別	報告内容
6	利用者に関すること	7.4通勤中のケガ、8.6作業中のケガ、8.27活動中の居室および網戸の破損、9.27通勤中のケガ、12.3活動中のケガ、12.4作業中のケガ、
4	支援員に関すること	8.21支援中のケガ、8.27支援中のケガ、9.12支援中のケガ、11.20支援中のケガ
1	その他	11.12 公用車の破損、

17　苦情内容及び結果の公表（苦情対応規程に該当するもの）

・つかさファーム周辺への無断駐車について

18　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
地域の清掃活動	通年	事業所周辺で活動（各ジョイナス・ひらしばの家）
交通安全立哨活動	交通安全週間	事業所周辺で活動（各ジョイナス）
資源回収	通年	ジョイナスたかおかにおいて、アルミ缶・新聞紙・段ボール・牛乳パック・古布・雑誌を回収
エコキャップの回収	通年	ジョイナスたかおかにおいて、ペットボトルキャップを回収しポリオワクチン支援活動に寄附

19　その他の活動

開催名	開催日	主催者	参加事業所等
豊寿園バザー	毎月 1 回	豊寿園	つかさ えかく
みどりの郷活動	春季・冬季 各 2 回	みどりの郷	たかおか
児ノ口公園春まつり	4 月 14 日（日）	陣中自治区	ふれあい
とよたガーデニングフェスタ	5 月 2 日（木）	とよたガーデニングフェスタ実行委員会	西山公園 鞍ヶ池公園 毘森公園
	5 月 3 日（金）		
若林民生児童委員交流会	6 月・11 月		たかおか
大豊バザー	6 月 13 日（木）	大豊工業株式会社	ふれあい
平芝自治区環境美化活動	6 月 16 日（日）	平芝自治区	ひらしばの家
防災食体験	6 月 25 日（火）		ひらしばの家
体育協会合同避難訓練	7 月・11 月	豊田市体育協会	毘森公園
プレおいでんバザー	7 月 13 日（土）	豊田おいでん祭り実行委員会	つかさ ふれあい
障がい者交流ダーツ大会	7 月 20 日（土）		さかえ
トヨタ自動車三好工場バザー	7 月 20 日（土）	トヨタ自動車	たかおか
調理体験	7 月 25 日（木）		ひらしばの家
たかおか・毘森交流会	8 月・12 月		たかおか 毘森公園
附特バザー	9 月 21 日（土）	愛知教育大学付属特別支援学校	えかく
崇化館交流館バザー	9 月 22 日（日）	崇化館交流館	さかえ ふれあい
豊田西病院サンワークショップバザー	9 月 29 日（日）	豊田西病院	ふれあい
末野原ふれあいまつり	10 月 6 日（日）	末野原交流館	えかく
上郷 GOGO フェスティバル	10 月 6 日（日）	上郷コミュニティ	えかく
いけばな池坊展	10 月 19 日(土)		さかえ
よっていきん祭バザー	10 月 19 日(土)	けやきワークス	さかえ
矯正展	10 月 19 日(土) 10 月 20 日(日)	名古屋刑務所	ふれあい

美里交流館祭	10月27日(土)	美里交流館	ふれあい
梅坪台ふれあいまつり	11月3日（日）	梅坪台ふれあいまつり実行委員	さかえ
若林交流館祭	11月3日（日）	若林交流館	たかおか
朝日ヶ丘交流館フェスタ	11月3日（日）	朝日ヶ丘交流館	つかさ
第40回豊田マラソン	11月17日(日)	豊田市	さかえ
大豊祭	11月10日(日)	大豊工業株式会社	ふれあい
つかさフェスタ	11月23日(土)	ジョイナスつかさ	さかえ ふれあい えかく
たかおか地域交流会	11月24日(日)	ジョイナスたかおか	
ふれあい交流会	12月8日（日）	豊田市育成会	さかえ さかえ保護者会 えかく保護者
クリスマス会	12月25日(水)		ひらしばの家
若林福祉委員交流会	2月		たかおか
手をつなぐ親の会バザー	2月2日（日）	手つなぐ親の会	ふれあい
高嶺小学校バザー	2月8日（日）	高嶺小学校	えかく
中馬のおひなさま	2月26日（水）	豊田市社会福祉協議会	つかさ ふれあい

ジョイナスつかさ ＜就労移行支援・就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地

愛知県豊田市司町3-61-1

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	7名
サービス管理責任者	1名	非常勤支援員	4名

3　定員・利用人数推移

【就労移行】

定員＝6名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	3	4	3	3	4	4	5	4	4	4	4	4	3.8名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	60	74	60	66	73	78	107	88	80	76	77	84	76.9日
月間出勤延べ日数	60	74	59	66	72	76	104	84	78	76	76	84	75.8日
出勤率	100%	100%	98%	100%	99%	97%	97%	95%	98%	100%	99%	100%	98.5%

【就労継続】

定員＝26名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	26	25	25	25	25	24	23	23	23	23	23	23	24.0名
開所日数	20	22	21	21	20	18	22	21	19	19	19	20	20.2日
月間稼働延べ日数	533	523	519	554	440	458	489	504	460	438	437	484	486.6日
月間出勤延べ日数	504	498	488	522	405	412	442	463	428	403	399	454	451.5日
出勤率	95%	95%	94%	94%	92%	90%	90%	92%	93%	92%	91%	94%	92.8%

法人全体出勤率	93.2%

4　売上推移

【就労移行】

年間売上合計(税込)	472,010円	法人売上	41,299,344円	全体に占める割合	1.1%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請負・委託事業売上	¥9,936	¥5,616	¥2,160	¥9,450	¥4,212	¥3,996	¥8,910	¥3,960	¥16,500	¥7,040	¥5,830	¥-
自主事業売上	¥11,700	¥12,100	¥25,180	¥36,790	¥42,360	¥52,230	¥32,746	¥54,600	¥26,800	¥29,200	¥45,740	¥31,900

【就労継続】

年間売上合計(税込)	10,522,784円	法人売上	41,299,344円	全体に占める割合	25.5%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請負・委託事業売上	¥765,252	¥777,853	¥779,698	¥778,209	¥769,171	¥791,058	¥806,781	¥753,948	¥737,170	¥739,772	¥781,606	¥808,298
自主事業売上	¥98,370	¥91,379	¥120,305	¥94,800	¥77,130	¥65,860	¥84,340	¥277,386	¥67,990	¥81,030	¥72,175	¥94,140

5　平均工賃

【就労移行】

当事業所平均工賃	11,023円／人	対前年比	98.7%
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%

【就労継続】

当事業所平均工賃	17,075円／人	対前年比	95.1%
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%

6　実習実績（延べ人数）

【就労移行】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
企業実習						10	4				6		20名
企業面接		1				1							2名
職場就労体験							1	1					2名
合　　計	0	1	0	0	0	11	5	1	0	0	6	0	24名

【就労継続】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
企業実習	4					10							14名
企業面接							1						1名
合　　計	4	0	0	0	0	10	1	0	0	0	0	0	15名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　29 名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	歯みがき	服装	爪点検	ハンカチ	言葉遣い	挨拶	栄養指導
達成率（%）	100	90	85	90	80	95	85
実施度（%）	100	100	100	100	100	100	100

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
就労移行	施設外就労	福祉センター 江戸屋クリーニング	185 名	0 名	185 名
	職場開拓	ハローワーク・各企業	3 名	0 名	3 名
	求職登録･申請等	ハローワーク	2 名	0 名	1 名
	面接書類作成等	ジョイナスつかさ	5 名	0 名	5 名
	就労定着支援	各企業	8 名	3 名	11 名
就労継続	請負作業	施設内	3904 名	842 名	4746 名
	施設外就労	福祉センター 江戸屋クリーニング	885 名	304 名	1189 名
	地域環境美化	周辺自治区	195 名	49 名	244 名
本人委員会 （毎週月曜日）	パソコン委員会	活動室 2	273 名	0 名	273 名
	弁当委員会	食堂	269 名	71 名	340 名
	新聞委員会	活動室 2	115 名	38 名	153 名
	KITTO 工房	活動室 1	246 名	76 名	322 名
	運動クラブ	多目的室	160 名	15 名	175 名
計			6250 名	1398 名	7648 名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
誕生日会	毎月第 4 月曜日・11 回（3 月は該当者なし）	292 名
七夕会	7 月 1 日	27 名
本人委員会発表会（民生委員）	9 月 11 日	27 名
地域交流会	11 月 23 日	27 名
本人委員会発表会（保護者）	12 月 9 日	27 名
買い物体験	10 月 21 日、2 月 3 日	53 名
成人を祝う会	1 月 20 日	26 名
外食体験	2 月 3 日	26 名
お楽しみ会	3 月 23 日	26 名
就職者お祝い会	5 月 13 日、10 月 31 日	52 名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00　○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握
・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・年 1 回の健康診断の実施（6 月 24 日）
・年 1 回の歯科検診の実施（7 月 25 日）

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	IH コンロ取り換え(5 月)
施設設備の保守点検 委託業務	防災設備（法定点検年 1 回） 空調設備（法定点検年 2 回） 電気設備（法定点検年 1 回） エレベーター点検（6/24、9/30、12/11、3/31） 消防用設備点検　（7/22） 建物定期点検（12/17）
施設設備の管理業務	棟内日常清掃（月～金）・ごみ回収（週 1 回） 床ワックス掛け（1 回） 樹木の剪定、除草（2 回） ごみ・廃棄物処理（2 回） 保護者会による清掃活動（2 回）

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	毎月 1 回	火災・地震を想定しての避難訓練

10　ボランティアの受入れ

6 月 12 日	地区民生児童委員さんの草刈り
9 月 11 日	地区民生児童委員さんの草刈り
5 月 22、23、31 日 6 月 3 日 10 月 24、25 日	玉越様の書道講座

11　実習生・就労等体験の受入れ

受入学校名		実習期間	人 数
実 習 生	三好特別支援学校（3 年）	4 月 3 日～4 日	1 名
	豊田特別支援学校（2 年）	6 月 17 日～21 日	1 名
	三好特別支援学校（2 年）	8 月 5 日	1 名
		8 月 19 日～20 日	1 名
	瀬戸つばき特別支援学校（3 年）	10 月 7 日～10 月 18 日	1 名
	三好特別支援学校（2 年）	12 月 27 日	1 名
アセスメント実習	逢妻中学校（3 年）	1 月 21 日～23 日	1 名
	愛教大附属特別支援学校（3 年）	2 月 20 日～27 日	1 名
	三好特別支援学校（3 年）	11 月 28 日～30 日	1 名
		12 月 12 日～14 日	1 名
		12 月 19 日～21 日	1 名
職場体験	豊南中学校特別支援級（1,2.3 年）	6 月 11 日～13 日	8 名
	朝日丘中学校（3 年）	11 月 26 日	1 名
	慈恵福祉専門学校	3 月 2 日～4 日	3 名

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	毎月第 2 火曜日	定例会
草取り	5 月 14 日	施設内の草取り
七夕会	7 月 1 日	昼食
日帰り旅行	10 月 19 日	静岡方面
バザー出店	11 月 3 日	朝日丘交流館祭で自主製品販売
クリスマス会	12 月 23 日	お茶会・プレゼント配布
大掃除	12 月 9 日	事業所内清掃
忘年会	12 月 9 日	大掃除終了後　昼食・カラオケ
成人の祝い	1 月 20 日	お祝い会・昼食
節分	2 月 3 日	豆まき

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
地域のゴミ拾い	4 月～3 月	1 時間かけて地域を回り、燃えるゴミ・ペットボトル・空き缶等を回収

14　まとめ

⑴重点目標結果

＜就労移行支援＞

①利用者さんの長所を伸ばす支援	達成率	80%
目　標	⑴作業のスキルを客観的に評価する仕組みを作るとともに、作業の目標を個々に設定することで、モチベーションの向上を図る。 ⑵得意な作業のレベルを上げて施設外就労に参加し、実践的なスキルアップを支援する。 ⑶本人委員会を通して得意なことを見つけ「本人による本人の為の活動」の活性化を目指す。 ⑷接遇のスキルを身に付ける、あるいは向上させるために喫茶 kittos の営業に参加する。	
結　果	⑴作業の目標を個々に設定し効率や正確性の向上は見られたが、作業スキルを客観的に評価する仕組みを確立することはできなかった。 ⑵福祉センターでの施設外就労に参加する回数を増やし、繰り返し作業を行うことで清掃作業のスキルの向上が見られ、1 名が清掃作業で企業に就職した。 ⑶各委員会で得意なこと挑戦したいことに取り組み、活動の幅を広げることができた。 ⑷毎回 kittos 開催前に接客の練習をして営業に臨んだので、接客の際の振る舞いや言葉もスムーズになっている。	
②職員のスキルアップを図る	達成率	85%
目　標	⑴部会の活動、法人内及び外部の研修、行政等の説明会に積極的に参加する。 ⑵他の移行事業所を見学し、支援や取り組みを参考にし、自分たちの支援を振り返る等してより良い支援を提供する。 ⑶年間を通した座学のカリキュラムを作成し、就労につながる支援の「見える化」を図る。 ⑷研修報告書の回覧や毎月 1 回移行支援のミーティングを行い、情報を共有する。	
結　果	⑴部会の活動や研修に積極的に参加し、それを事業所内で話し合って情報を共有することができた。 ⑵連絡会に参加し、他の移行支援事業所や関係機関との情報交換を行うことはできたが、見学に行くことはできなかった。 ⑶座学の年間カリキュラムを作成、予定の 7 割しか実施できなかった。 ⑷研修報告の回覧と移行支援ミーティングを必要に応じて随時行い、情報を共有した。	

③地域への「見える化」	達成率	80%
目　標	⑴企業への面接会や実習に積極的に挑戦するとともに、企業への見学も行い、地域とのつながりを深める。 ⑵農作業を希望される方全員が作業に参加することで、外で活動する機会を増やす。 ⑶畑に看板を設置してつかさの畑であることを近隣住民に知っていただく。 ⑷SNS を活用して施設の情報を発信する。	
結　果	⑴企業への見学は 4 社、9 名が参加、6 名が実習を行い 2 名が就職した。就職に至らなかった利用者さんもご本人の就職に対する意欲向上につながるとともに適性の見極めができた。移行支援のチラシと事業所のパンフレットを作成し配布した。 ⑵体力をつけるためにも、利用者さんには積極的に畑での作業に参加していただき、外で活動する機会が増えた。 ⑶畑に設置する看板をキット工房の利用者さんが中心となって製作している。 ⑷ブログは行事ごとに更新しているが、個人情報管理の課題が生じ、新たな SNS の活用には至らなかった。	

＜就労継続 B 型＞

①利用者さんの長所を伸ばす支援	達成率	90%
目　標	⑴利用者さんの新たな強みを探り、特性に応じて細分化した作業を提供する。 ⑵利用者さんの能力を引き出し、新しい作業に挑戦できる環境を整える。 ⑶本人委員会では新たなことに取り組む中で、出来ることを増やす。	
結　果	⑴旗を折る、袋に詰める、テープで止める作業を分担して実施。作業にも慣れ、一度見本を見せる事でほとんどの利用者さんが行えるようになってきている。 ⑵1 月より新しいパッキンの作業を開始。ほとんどの利用者さんが行える作業となっている。 ⑶月に 3 回弁当委員会による昼食作りを実施。揚げ物に挑戦している利用者さんも上手に揚げる事が出来るようになってきた。パソコン委員会では文字打ちの練習を行っている。正確に文字が打てるようになってきており、スピードも上がってきている。	
②職員のスキルアップを図る	達成率	60%
目　標	⑴伝達事項を記載した日誌を回覧し、全職員間の速やかな情報共有化を図る。 ⑵各職員が自主的な研修に 1 年に 1 回は参加し、知識・技術の向上を目指す。	
結　果	⑴継続して日誌に伝達事項を記入し、各職員が内容を確認、印鑑を押すようにしている。大事な内容に関してはいない職員に直接伝えるようにしている。 ⑵事務局からの研修には参加していたが、自主的に研修に参加する職員は限られていた。新たに始めている農業に関しての研修に参加しようとしていたが、参加予定職員の体調不良により参加する事は出来なかった。	

③地域への「見える化」	達成率	80%
目　標	⑴農地に看板を立て、収穫できた作物をつかさブランドとして地域の方に周知する。 ⑵地域交流会を実施し、喫茶、自主製品販売、楽器演奏等を通して地域と交流する。 ⑶ブログにて活動内容を月に１回は更新し、イベントの際は近隣へチラシを配布する。	
結　果	⑴現在、つかさファームの看板を製作中。野菜は、冬に大根・人参を収穫。つかさ内での販売だったが、大根は好評だった。 ⑵11 月 23 日につかさフェスタを開催。ラーメンやドリンク、ゲーム、自主製品の販売を行った。ボランティアの方による楽器演奏やフラダンス、マジックショーなどもあった。 ⑶地域交流会近くには近隣へチラシを配布した。イベントなどあった時にはブログを更新した。しかし、個人情報の関係もあり後半は公開を中止した。	

⑵管理者総評

令和元年度については特に大きな目標として、地域への「見える化」を掲げ、地域交流会（つかさフェスタ）の開催と、農作業（農福連携）への挑戦に取り組みました。地域交流会には近隣の方にも来ていただき、ステージでは地域で活動されているグループの方に出演していただくことで、地域共生社会づくりの一助になっていけばと思います。就労移行支援においては、今年２名の方たちが、一般企業に進まれました。就労継続支援Ｂ型は施設外就労先が１ヶ所になりましたが、新たな請負事業も軌道に乗り始め、また保護者会の協力による自主製品の売上も順調に推移できています。令和２年度は、農産物の販路拡大をはじめ、ジョイナスつかさの良さを地域にさらにアピールできるよう取り組んでいきたいと思います。

ジョイナスさかえ＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地　　愛知県豊田市栄町1-1

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	5名
サービス管理責任者	1名	非常勤支援員	1名

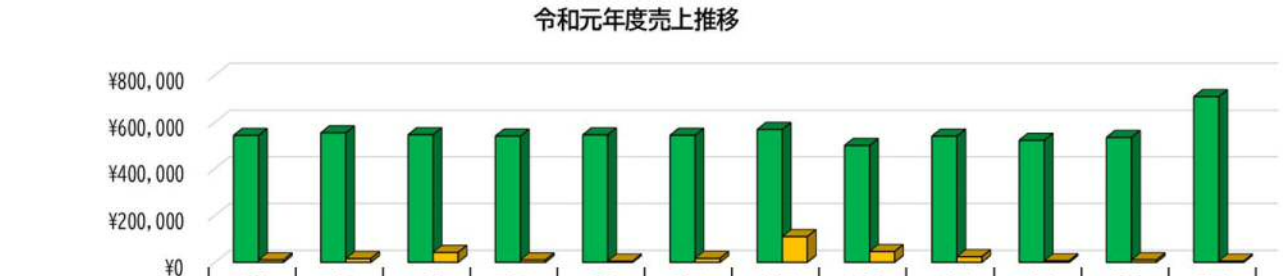
3　定員・利用人数推移

定員＝23名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	22	22	21	22.7名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	460	484	460	506	425	437	483	506	440	399	399	441	453.3日
月間出勤延べ日数	428	449	425	463	388	400	442	443	389	349	360	395	410.9日
出勤率	93%	93%	92%	92%	91%	92%	92%	88%	88%	87%	90%	90%	90.6%

法人全体出勤率	93.2%

4　売上推移

年間売上合計(税込)	6,958,733円	法人売上	41,299,344円	全体に占める割合	16.8%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請負・委託事業売上	¥543,832	¥554,988	¥546,989	¥541,131	¥546,391	¥544,219	¥569,520	¥501,174	¥540,795	¥523,390	¥535,655	¥708,868
自主事業売上	¥10,170	¥15,870	¥42,357	¥9,940	¥4,890	¥16,750	¥109,674	¥45,940	¥23,930	¥6,500	¥10,660	¥5,100

5　平均工賃

当事業所平均工賃	11,961円／人	対前年比	96.0%
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%

6　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
屋内実習	1				1				2	8	5	3	20名
屋外実習	52	46	47	56	18	36	50	62	48	30	26	33	504名
合　　計	53	46	47	56	19	36	50	62	50	38	31	36	524名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員 24 名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	歯磨き	服装	爪点検	ハンカチ	言葉づかい	挨拶
達成率（%）	85	85	80	90	80	75
実施度（%）	100	100	100	100	100	100

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
就労継続	請負作業	施設内	3746 名	390 名	4136 名
	自主製品作成	施設内	88 名	22 名	110 名
	施設外就労	パルク清掃	1151 名	121 名	1272 名
計			4985 名	533 名	5518 名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
お茶・茶道教養	年 2 回　5 月・9 月	60 名
活動タイム	月 1 回	20 名
七夕ランチ	年 1 回　7 月	20 名
豊田マラソン	年 1 回　11 月	8 名
障がい者作品展鑑賞	年 1 回　12 月	18 名
初詣	年 1 回　1 月	20 名
お楽しみランチ	年 1 回　2 月	19 名
ワークショップ	不定期	20 名
ウォーキング	不定期	20 名
本人活動	不定期	20 名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00 ○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	豊田地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握
・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・健康診断の受診（6 月 21 日）
・歯科検診（9 月 5 日）
・月 1 回の体重測定
・ラジオ体操（毎日、作業開始前）

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	2 階流し排水修理、 1 階トイレレバーハンドル修理 事業所駐車場出入口門扉取替修理
施設設備の保守点検委託業務	空調設備（法定点検年 2 回）、消防用設備保守点検（年 2 回）
施設設備の管理業務	棟内清掃（月～金）、ワックスがけ（年 2 回）、草取り（月 1 回） 廃棄物処理

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	毎月第 3 木曜日	地震・火災発生時の対応、行動練習

10　ボランティアの受入れ

華道・茶道の先生 4 名	年 2 回

11　実習生・就労等体験の受入れ

受入学校名		実習期間	人 数
実 習 生	三好養護特別支援学校	4 月 4 日	1 名
	三好養護特別支援学校	8 月 21 日	1 名

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	月 1 回	定例会
鏡開き	1 月 10 日	お汁粉を振る舞う
日帰り旅行	11 月	飛騨高山　散策
パレットルーム	月 4 回	手作り雑貨製作
パレットルームお楽しみ会	3 月 27 日	くじ引き大会

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨活動	毎月ゼロの日、交通安全週間	交通安全の呼びかけ
環境美化活動	月１回ジョイナスさかえ 5S の日	事業所周辺のゴミ拾い・草取り

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの「やってみたい！」を応援		達成率	85%
目　標	⑴利用者さん主体の利用者会議を月 1 回開催し、利用者さんの意見を取り入れながら行事や外出体験の企画を行っていく。 ⑵クラブ活動を月１回行い、楽しみながらご本人の能力が発揮出来るようにする。		
結　果	⑴年間 12 回以上の利用者会議を開催することで、クラブ活動やイベントでは利用者さんの意見を取り入れた活動を行えた。 ⑵利用者さんの希望に応じてクラブ活動を実施した。クラブ活動によって活動回数の偏りがみられたが、所属先以外のクラブ活動でも利用者さんの希望によって参加できるようにし、補うことができた。		
②利用者さんの長所を伸ばす支援		達成率	90%
目　標	⑴作業の細分化を行い、一人ひとりの特性に合わせた作業を担当することでどの仕事にも自信を持って取り組めるよう支援する。 ⑵利用者さんが希望する作業の実習を毎月 1 名以上行い、新しい仕事へのチャレンジや実践を通して利用者さんの能力を伸ばすように支援する。		
結　果	⑴作業時に個別で対応することによって、利用者さんのスキルアップにつながり、自信を持って仕事に携わっていただくことができた。 ⑵西山公園利用者さんと協力して、必要に応じて公園内の掃き掃除や除草作業をおこなった。また、毎週 2 回程度、6 名の利用者さんが交替で西山公園木造トイレ清掃を実施した。		
③職員のスキルアップを図る		達成率	90%
目　標	16:15～16:30 まで情報共有の場（報連相タイム）を設け、研修の報告や日々の課題について話し合い支援の向上と統一を図る。		
結　果	毎日 16:00～16:30 の時間を中心に利用者さんに関する出来事や対応方法、今後の支援方法などについて会話をし、情報の共有を行うと同時に申し送り帳にも記入して周知をしている。また、会議を行う際には全員の職員が参加できるよう日程調整を行うようにしている。		

⑵管理者総評

今年度も利用者の方一人ひとりの特性に合わせた支援や意見・希望を仕事や行事・活動等に反映させることに取り組んでいただけました。その取り組みが１名の方が就職をする、という成果につながったと思います。施設外就労・公園勤務・他事業所との兼務など、職員が複数の場で業務を行う体制となっており、情報の共有が難しい職場ですが、その環境を意識した意見交換や工夫が活発に行えるようになってきていると感じます。

ジョイナスさかえ 西山公園 ＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地　　愛知県豊田市西山町5丁目1番地

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	1名
サービス管理責任者	1名		

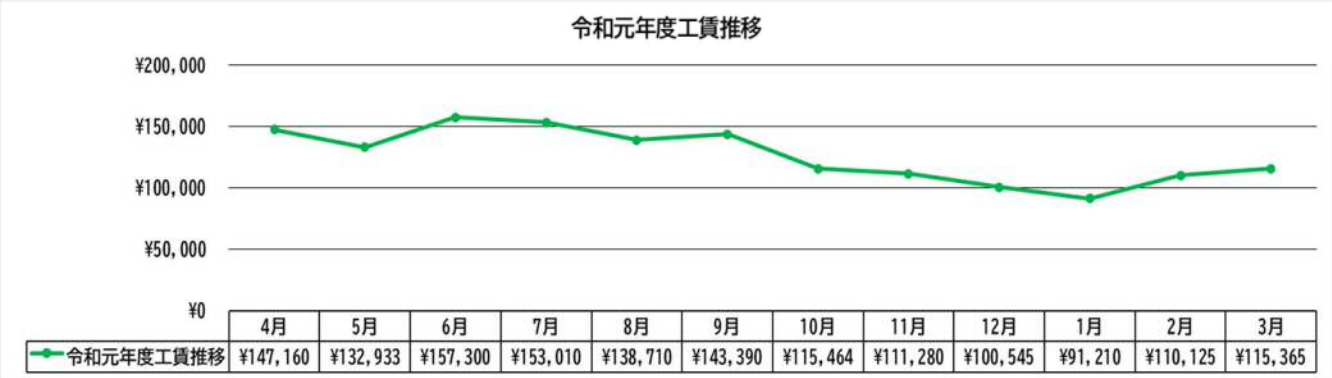
3　定員・利用人数推移

定員＝10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4.5名
開所日数	20	19	21	22	19	20	21	21	19	19	20	20	20.1日
月間稼働延べ日数	100	95	105	110	95	100	84	84	76	76	80	80	90.4日
月間出勤延べ日数	98	94	105	107	93	100	83	81	76	64	79	80	88.3日
出勤率	98%	99%	100%	97%	98%	100%	99%	96%	100%	84%	99%	100%	97.7%

法人全体出勤率	93.2%

4　平均工賃

当該施設平均工賃	28,925円／人	対前年比	105.6%	3屋外施設平均	28,696円／人
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%		



5　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
屋内実習									2	8	5	3	18名
屋外実習受け入れ	52	46	47	56	18	36	57	64	57	30	26	33	522名
買い物実習		5			10		8	1	5		2	1	32名
合　　計	52	51	47	56	28	36	65	65	64	38	33	37	572名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　　5名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	歯みがき	身なり	うがい/手洗い	挨拶	お茶の用意/片付け
達成率（%）	80	90	90	90	100
実施度（%）	100	100	100	100	100

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
就労継続B型	公園清掃	西山公園内	1582名	0名	1582名
計			1582名	0名	1582名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
活動タイム(運動等)	毎月第1金曜日　年12回	54名
お楽しみ会(買い物体験)	年4回	19名
とよたガーデニングフェスタ	年1回　5月	3名
障がい者交流ダーツ大会	年1回　7月	5名
豊田マラソン大会	年1回　11月	1名
新年会	年1回　1月	4名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00 ○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	豊田地域　医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握
・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・年1回健康診断の実施
・年1回歯科検診の実施

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	西山公園管理事務所
施設設備の保守点検委託業務	西山公園管理事務所
施設設備の管理業務	西山公園管理事務所

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	月 1 回	火災・地震を想定しての避難訓練

10　ボランティアの受入れ

無し

11　実習生・就労等体験の受入れ

無し

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会定例会	偶数月と 3 月の年 7 回	行事・連絡事項の確認
ごきぶり団子作り	4 月 2 日	とよたガーデニングフェスタ販売用自主製品作り
利用者お別れ会	8 月 17 日	送別会
新年会	1 月 11 日	昼食会
花苗植え付け	3 月 3 日	自主製品作り

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
環境美化活動	毎月最終土曜日他(月 2 回程度)	自治区・公園周辺のゴミ拾い、除草
挨拶運動	勤務日	公園関係者・来園者への挨拶の徹底

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの「やってみたい！」を応援		達成率	80%
目　標	⑴月に 1 名希望する利用者さんに屋内実習を行って頂き、様々な仕事にチャレンジをする機会を設ける。 ⑵月に 1 回以上本人活動の時間を設けて利用者さん一人一人の希望を把握し、やってみたいこと（外食体験・買い物体験・運動・創作活動等）を実現できるようにする。		
結　果	⑴12 月より、公園の清掃業務に大きく影響が出ない範囲で施設清掃のスキルを上げていきたい、との希望を持たれている利用者さん 1 名に屋内実習を行って頂いている。 ⑵毎週金曜日の午後に本人活動の時間を設け、運動やクラブ活動、創作活動などを行っている。また、月に 1 回程度利用者会議の時間を設け、法人・事業所イベントの感想や本人活動の活動内容の決定などについて話し合いを行っている。		
②利用者さんの長所を伸ばす支援		達成率	85%
目　標	⑴利用者さんが作業のしやすい道具の導入や、作業手順の見直し等を行い、個々の能力が発揮しやすい支援を行う。 ⑵月に 1 回利用者会議を開催し作業について話し合う機会を持ち、作業の進め方の改善や、作業環境を整えることができるように支援する。		
結　果	⑴利用者さん一人一人の作業の様子を観察し、体格や傾向に合わせて作業道具を検討し入れ替えを行うことで、負担の軽減と能力を発揮しやすい環境づくりを進めた。また、作業手順についても利用者さんの様子に応じて随時見直しを行うようにしている。 ⑵月に 1 回程度必要に応じて作業方法や道具について利用者を交えて意見交換を行い、作業手順の見直しや新しい作業道具の選定を進めている。		
③職員のスキルアップを図る		達成率	90%
目　標	毎日 16:00～16:30 まで（必要に応じて時間は調整する）情報共有の場を（報連相タイム）設け、研修の報告や日々の課題について話し合い支援の向上と統一を図る。		
結　果	毎日 16:00～16:30 の時間を中心に利用者さんに関する出来事や対応方法、今後の支援方法などについて話し合い、情報の共有を行うと同時に、申し送り帳にも記入して周知をしている。また、会議を行う際には全員の職員が参加できるよう日程調整を行っている。		

⑵管理者総評

昨年に引き続き利用者の方の減少があり、少人数でも効率的な作業が行えるよう取り組んでいただけました。また、仕事だけでなくレクリエーションやクラブ活動も利用者の方一人ひとりの意見を聞き内容を決定する流れができてきています。なにより利用者の皆さんが毎日元気で過ごされており、高い出勤率を継続してくださっていることをうれしく思います。

ジョイナスふれあい＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地　　愛知県豊田市喜多町6-61-1

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	4名
サービス管理責任者	1名	非常勤支援員	2名

3　定員・利用人数推移

定員＝20名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23.0名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	460	483	460	506	414	437	483	506	460	437	437	483	463.8日
月間出勤延べ日数	412	421	412	439	355	389	430	440	408	384	387	372	404.1日
出勤率	90%	87%	90%	87%	86%	89%	89%	87%	89%	88%	89%	77%	87.1%

法人全体出勤率	93.2%

4　売上推移

年間売上合計(税込)	4,755,085円	法人売上	41,299,344円	全体に占める割合	11.5%

5　平均工賃

当事業所平均工賃	8,519円／人	対前年比	107.0%
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%

6　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
屋内実習受け入れ	5		10				4				5	5	29名
屋内実習					5	19							24名
屋外実習	8												8名
合　　計	13	0	10	0	5	19	4	0	0	0	5	5	61名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　23 名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	挨拶	歯磨き	言葉遣い	食事のマナー	服装	時間を守る
達成率（%）	95	100	85	80	90	90
実施度（%）	100	100	95	95	95	100

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
就労継続	請負作業	作業室	1622 名	3315 名	4937 名
	施設外就労	若園公園	48 名	20 名	68 名
	自主製品製作	作業室	1210 名	2323 名	3533 名
計			2880 名	5658 名	8538 名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
誕生日会	誕生者のある月（計 10 回）	210 名
お楽しみ会	誕生者がいない月（計 2 回）	42 名
カレンダー作り	年 12 回	252 名
Ｊ＆Ｊカフェ	年 11 回	232 名
買い物体験	年 1 回（2 月 14 日）	21 名
外食	年 2 回（12 月・1 月）	42 名
お花見	4 月 5 日	21 名
七夕会	7 月 5 日	21 名
パイプオルガンコンサート	7 月 26 日	21 名
駄菓子屋さん（VR 買い物）	8 月 8 日	21 名
ふれあいランチ（シチュー）	8 月 16 日	21 名
障がい者作品展見学	12 月 5 日	21 名
クリスマス会	12 月 19 日	21 名
年賀状作り	12 月 27 日	21 名
初詣	1 月 6 日	21 名
節分	2 月 1 日	21 名
ひな祭り	3 月 3 日	21 名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00 ○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握
・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・健康診断の受診（6 月 19 日）
・歯科健診（8 月 22 日）
・月 1 回の体重測定の実施
・日々の手洗い、うがい等による予防対策の励行

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	※豊田市シルバー人材センターが管理
施設設備の保守点検委託業務	※豊田市シルバー人材センターが管理
施設設備の管理業務	※豊田市シルバー人材センターが管理 廃棄物処理（可燃物　毎週 1 回、金属他 1 回）

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	4 月 26 日・5 月 27 日 6 月 28 日・7 月 31 日 8 月 29 日・9 月 24 日 11 月 21 日・12 月 24 日 1 月 27 日・3 月 8 日	火災・地震を想定しての避難訓練
シルバー合同	10 月 7 日・3 月 25 日	煙道体験・消火体験
ＡＥＤ講習	7 月 11 日	事業所でＡＥＤの使い方を学習
防災センター見学	6 月 12・14・18・21・26 日 7 月 3・16 日	市消防本部にて暴風・地震体験

10　ボランティアの受入れ

6 月 25 日	拳母小学校 5 年生 27 名が事業所を見学
7 月 17 日	拳母小学校を訪問し 5 年生と交流

11　実習生・就労等体験の受入れ

受入学校名		実習期間	人 数
実 習 生	三好特別支援学校	12 月 9 日	1 名
		3 月 13・23 日	1 名
	美里中学校	11 月 12 日～14 日	1 名

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	毎月第 4 木曜日	定例会（3 月中止）
食事会	例年 3 月	コロナウイルス感染防止のため中止
自主製品協力	8 月 1 日	裂き織りのための着物ほどき
	臨時（自宅にて作業）	

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
環境美化活動	6 月 6 日 ※日々の体力作りのウォーキング時にも随時実施	施設周辺のゴミ拾い
	9 月 25 日	トヨタ自動車株式会社様のゴミ拾いボランティア活動に参加
交通安全立哨活動	7 月 23 日	交通安全の呼びかけ

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんのスキルアップを図る	達成率	95%
目　標	個別支援計画と関連した目標を達成するごとに、仮想通貨やポイントを付与。貯まった金額・ポイントに応じてご本人が望むこと（イベント・商品等）と交換する「VR ふれあい」を継続。その中で目標を達成する喜びや楽しさを知る事で、自信を持って何事にも取り組む事が出来るようにする。	
結　果	・利用者さんが、目標達成の状況を目で見て理解できるように、金額を横棒グラフにして示すようにした。それを見て、「〇〇ポイントです」と嬉しそうに報告してくださる利用者さんもいて、頑張ればポイントが増えていく感覚をより感じていただいている。すべての利用者さんが、それぞれのペースで目標達成に向かって前進しており、一定の効果が見られる。 ・模擬硬貨を使用した買い物を行ったことで、実際のお店でも買い物ができた利用者さんもおり、実生活にも良い影響がでている。	

②職員のスキルアップを図る		達成率	90%
目　標	毎日（15：40～16：00）その日の支援の状況を共有する時間を設け、支援の現場で起こった問題や支援の方法等を毎月開催のケース検討会議で話し合い、知識や技術を共有することで利用者さんごとの支援（対応）の統一を図る。		
結　果	・引き続き、経過記録を書く時間にその日の出来事を報告し、話し合っている。特に、対応に困っている利用者さんについては、支援員全員が同じ支援ができるように方向性の統一を図っている。 ・ケース検討会議でも、当該利用者さんの所属する事業所だけでなく、ふれあいグループ全体で現状と課題を把握し、対応方法を検討している。		
③地域への「見える化」		達成率	85%
目　標	⑴地域の方に事業所を知っていただくために、月 1 回自治区の環境美化活動や交通安全立哨活動・挨拶運動などを行い、地域に根ざした事業所作りを行う。 ⑵事業所での活動を掲載したブログを月 2 回以上更新、年 2 回「ふれあい便り」を発刊し、利用者さんのがんばっている姿を事業所内外に紹介する。		
結　果	⑴交通安全立哨活動、環境美化活動ともに実施ができていない。挨拶は毎日元気よく行うように声掛けをしており、お弁当配達の方やお掃除のシルバーさんを始め、来所された方にも元気よく気持ちよくできている。 来所されるお客様に「ここはどういうところですか？」と聴かれることがあったが、ふれあい紹介のポスターを利用して説明することができた。 ⑵ブログについては毎月 2 回以上更新できていたが、掲載する写真の問題で現場が混乱し現在は停滞している。 ふれあい便りは、運動会特別号を作成し廊下や食堂に張り出し来所された方や保護者さんに見て喜んでいただいた。		

⑵管理者総評

ＶＲふれあいが定着しつつあり、利用者の皆さんの意欲の向上、出来る仕事が増えてきていることが感じられるようになってきています。これは、職員の視点、アプローチの変化が起因していると思います。これにより工賃向上にも繋がってきています。職員発信による外出体験等の機会を増やすことができふれあいの支援環境の変化の始まりの１年になりました。

ジョイナスみさと ＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地

愛知県豊田市美里1丁目10-8

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	2名
サービス管理責任者	1名	非常勤支援員	1名

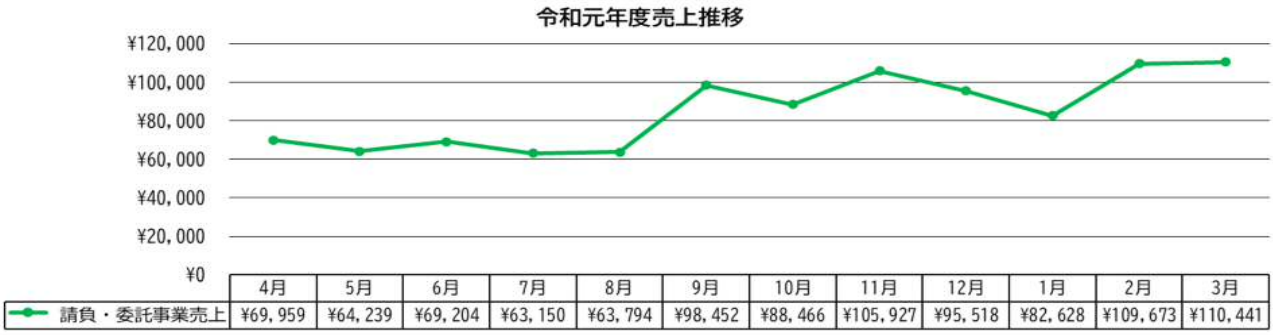
3　定員・利用人数推移

定員＝10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11.0名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	220	231	220	242	198	209	231	242	220	209	209	231	221.8日
月間出勤延べ日数	216	222	206	219	174	191	210	224	194	183	187	209	202.9日
出勤率	98%	96%	94%	90%	88%	91%	91%	93%	88%	88%	89%	90%	91.5%

法人全体出勤率	93.2%

4　売上推移

年間売上合計(税込)	1,021,451円	法人売上	41,299,344円	全体に占める割合	2.5%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請負・委託事業売上	¥69,959	¥64,239	¥69,204	¥63,150	¥63,794	¥98,452	¥88,466	¥105,927	¥95,518	¥82,628	¥109,673	¥110,441

5　平均工賃

当事業所平均工賃	8,651円／人	対前年比	113.8%
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%

6　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
屋内実習受け入れ			8		4			3				1	16名
合　　計	0	0	8	0	4	0	0	3	0	0	0	1	16名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　11 名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	挨拶	身なり	歯磨き	言葉遣い	手洗いうがい	食事マナー
達成率（%）	100	90	100	90	90	80
実施度（%）	100	90	100	100	90	90

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
就労継続	請負作業	作業室	1120 名	1314 名	2434 名
	自主製品作成	作業室	22 名	39 名	61 名
	施設外就労	若園運動公園	56 名	19 名	75 名
計			1198 名	1372 名	2570 名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
誕生日会	誕生者のある月（7 月、9 月、11 月、12 月、3 月）	52 名
お楽しみ会	誕生者がいない月(4～6 月、8 月、10 月、1 月、2 月)	75 名
本人活動	年 7 回（5 月、6 月、8 月、10 月、11 月、1 月、2 月）	80 名
外食	年 3 回(7 月 26 日、12 月 6 日、1 月 6 日)	31 名
お花見会	4 月 5 日	11 名
昼食作り	5 月 6 日、8 月 16 日	20 名
七夕会	7 月 4 日	11 名
パイプオルガンコンサート	7 月 26 日	11 名
障がい者作品展見学	12 月 6 日	10 名
クリスマス会	12 月 24 日	9 名
初詣	1 月 6 日	10 名
鏡開き	1 月 10 日	10 名
節分	2 月 4 日	10 名
買い物体験	2 月 14 日	10 名
ひな祭り会	3 月 4 日	10 名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00 ○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握
・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・健康診断の受診（6 月 19 日）
・歯科健診（8 月 22 日）
・月 1 回の体重測定の実施
・日々の手洗い、うがい等による予防対策の励行

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	無し
施設設備の保守点検委託業務	有限会社　大一防災(消防設備点検)
施設設備の管理業務	日常清掃（月～金)、ごみ回収（週 1 回）

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	4 月 24 日、 5 月 27 日、 6 月 13 日、 7 月 17 日、 8 月 28 日、 9 月 25 日、 10 月 30 日、11 月 11 日、 12 月 18 日、 1 月 15 日 2 月 19 日、 3 月 10 日	火災・地震を想定しての避難訓練

10　ボランティアの受入れ

無し

11　実習生・就労等体験の受入れ

受入学校名		実習期間	人 数
実 習 生	豊田市立美里中学校	6 月 11 日～13 日	1 名
	豊田市立豊田特別支援学校	6 月 24 日～28 日	1 名
	三好特別支援学校高等部	3 月 23 日	1 名

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	偶数月、第二金曜日	定例会（3 月中止）
食事会	例年 3 月	コロナウイルス感染防止のため中止

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨活動	9月10日、10月 9日 11月11日、12月11日 2月10日、 3月10日	交通安全の呼びかけ

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの長所を伸ばす支援		達成率	80%
目　標	⑴個別支援計画と関連した目標を達成するごとに、仮想通貨やポイントを付与し、貯まった金額・ポイントに応じてご本人が望むこと（イベント・商品等）と交換する「VRふれあい」を継続。その中で目標を達成する喜びや楽しさを知る事で、自信を持って何事にも取り組む事が出来るようにする。 ⑵独立に向けて、今ある仕事の継続及び新たな仕事の獲得により、安定した仕事環境を整える。		
結　果	⑴商品をカタログより自分の欲しい商品を選んで頂くことで、目標達成に向けて意欲的に取り組まれる方が増えた。模擬硬貨を使用する事で両替等お金に関して興味を持たれる方も増えている。 ⑵幟をたたむ作業では、横たたみから初めて頂いた方１名が、幟のたたみを最初からたたむことができるようになり、他の方も色々な作業を行えるようになってきている。また地域の方との交流により地域より地域で使う粗品（ゴミ袋・紙袋の包装）のお仕事をいただいた。		
②職員のスキルアップを図る		達成率	90%
目　標	職員のスキルアップを図る 毎日（15：40～16：00）その日の支援の状況を共有する時間を設け、支援の現場おこった問題や支援の方法等を毎月開催のケース検討会議で話し合い、知識や技術を共有することで利用者さんごとの支援（対応）の統一を図る。		
結　果	前期同様利用者さんの退勤後、経過記録の記入時に支援状況・現場でおこった問題を話し合い、検討を行った。モニタリングでは、より具体的な支援内容を検討した。		

③地域への『見える化』	達成率	95%
目　標	ジョイナスみさとを紹介するブログの月 2 回以上の更新及びみさと便りを定期的に作成し近隣への配布を行う。また交流館との積極的な関係作りを行い、地域に溶け込んだ事業所にする。	
結　果	・毎月定期的に交流館行事に参加することにより、10 月におこなわれた美里ふれあいフェスタ（交流館祭）に参加させていただくことができ地域の方にジョイナスみさとを知っていただくことができた。また、地域の方との交流を持つ事により仕事をいただくこともできた。 ・定期的なブログの更新は、写真掲載の問題で中断している状態である。みさと便りの作成に向けて利用者クラブ活動（本人活動）を立ち上げ役割などは決めることができた。	

⑵管理者総評

開設から 2 年が経過し事業所としての生活パターンが固まってきました。仕事については基盤となる幟を含め複数の仕事ができるようになり、利用者さんに新たな仕事への取組みと効率化を目指した支援に取り組むことができました。また、地域交流は計画以上のスピードと内容で実施することが出来、地域に根差した事業所への入り口に立てた 1 年でした。

ジョイナスふれあい 鞍ヶ池公園＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地

愛知県豊田市矢並町法沢714-5

2　職員体制

管理者兼 サービス管理責任者	1名	常勤支援員	2名

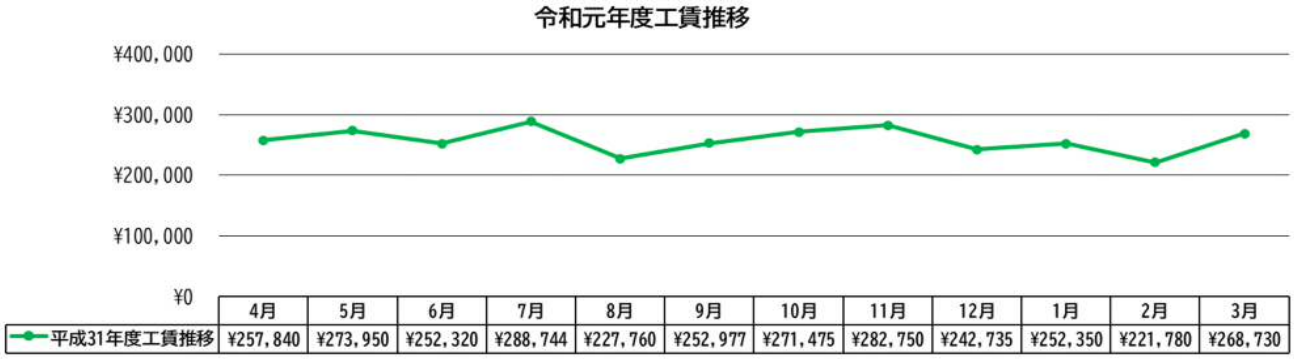
3　定員・利用人数推移

定員＝10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9.0名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	180	189	180	198	162	171	189	198	180	171	171	189	181.5日
月間出勤延べ日数	174	186	177	192	160	167	182	189	168	169	150	178	174.3日
出勤率	97%	98%	98%	97%	99%	98%	96%	95%	93%	99%	88%	94%	96.1%

法人全体出勤率	93.2%

4　平均工賃

当該施設平均工賃	28,878円／人	対前年比	105.1%	3屋外施設平均	28,696円／人
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%		



5　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
屋内実習	1		1						1	1	1	1	6名
合　　計	1	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	6名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　9名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	歯みがき	身なり	うがい/手洗い	挨拶	お茶の用意/片付け
達成率（%）	100	80	100	100	100
実施度（%）	100	100	100	100	100

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
就労継続	清掃、除草、ゴミ拾い、溝掃除	公園内全体	1221名	407名	1628名
	清掃	豊田市動物愛護センター	414名	64名	478名
計			1635名	471名	2106名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加 利用者数
誕生日会	誕生者のある月 5月16日、9月11日、11月14日、1月22日、3月13日	44名
お花見	4月5日・3月25	18名
VRふれあい買い物体験	7月12日	9名
パイプオルガンコンサート	7月26日	9名
矢並湿地見学	10月9日	9名
鞍ヶ池日帰りバス旅行	11月3日	9名
障がい者作品展見学	12月6日	9名
クリスマス会	12月20日	9名
初詣(Jふれあいと合同)	1月6日	9名
節分	2月3日	9名
本人活動	月2回程度	216名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00 ○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握

・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・月 1 回の体重測定・血圧測定、年 1 回の健康診断の実施（6 月 19 日）

・年 1 回の歯科検診の実施(8 月 22 日)

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	公園緑地協会鞍ヶ池公園管理事務所 作業室・食堂の空調設備交換
施設設備の保守点検委託業務	消火器点検・ガス漏れ警報器
施設設備の管理業務	公園緑地協会鞍ヶ池公園管理事務所

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	4 月・6 月・8 月・10 月・2 月	火災・地震を想定しての避難訓練
防災学習	9 月 13 日	豊田市防災学習センターにて防災学習

10　ボランティアの受入れ

無し

11　実習生・就労等体験の受入れ

無し

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	偶数月	定例会
日帰り旅行	11 月 3 日	滋賀県・彦根城下町
新年会	2 月 7 日	カラオケ・食事

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨活動	毎月(10 日前後)	交通安全の呼びかけ

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの長所を伸ばす支援		達成率	80%
目　標	⑴個別支援計画と関連した目標を達成するごとに、仮想通貨やポイントを付与し、 貯まった金額・ポイントに応じてご本人が望むこと（イベント・商品等）と交換する「VR ふれあい」を継続。その中で目標を達成する喜びや楽しさを知る事で、自信を持って何事にも取り組む事が出来るようにする。 ⑵ジョイナスふれあい・みさとへの実習を定期的に行う事で、様々な場面を提供し、ストレングスを引き出していく。		
結　果	⑴利用者さんが、毎日目標を達成することに意欲的に取り組んでおり、9 名全員がポイントと望むもの（体験型イベントやカタログ商品）に交換することが出来た。目標が明確になり利用者さんのモチベーションアップつながっている。 ⑵4 月に 1 名、6 月に 1 名、12 月に 1 名、1 月 1 名、2 月 1 名、3 月 1 名ジョイナスふれあいでの実習を行った。VR ポイントで 1 年に 2 回ふれあい実習に参加した方もいた。		
②地域への「見える化」		達成率	95%
目　標	⑴ブログを月 2 回以上更新や事業所の新しいトイレを活用し、事業所の行事・仕事内容の紹介をしていく。 ⑵矢並自治区に『育成会だより』を利用者さんと一緒に配布する事で、地域社会の一員としての周知と自覚を促す。 ⑶バザーや地域行事に年 2 回参加し、その際に『鞍ヶ池だより』を配布することで知名度を UP する。		
結　果	⑴事業所トイレ内と豊田市動物愛護センター館内の掲示物を作成し、新しい物へ更新した。ブログは月 2 回更新できた。 ⑵『育成会だより』が発行時に、利用者さんと共に矢並自治区に配布のお願いに行き、挨拶を行った。併せて、矢並自治区配布用『鞍ヶ池だより』を作成し、配布した。 ⑶とよたガーデニングフェスタ、中馬のおひなさんバザーにて『鞍ヶ池だより』を配布し、活動内容などを PR した。		
③職員のスキルアップを図る		達成率	85%
目　標	⑴仕事内容の現状・課題・解決策を検討する場を年 2 回もち、課題を明確にし、専門業者の清掃指導を年 1 回実施する事と、シルバー派遣職員の方々と、清掃方法について情報交換会を年 2 回開催する事で、継続して仕事がいただけるよう力をつけていく。 ⑵他事業所の清掃業務を見学に行き、清掃方法のスキルの向上をはかる。		
結　果	⑴11 月 1 日、3 月 5 日にシルバー派遣職員との意見交換会を実施した。動物愛護センターが 12 月より施設外となったため、利用者の個別支援目標や作業体制について、説明を行った。 ⑵10 月 10 日に西山公園、10 月 15 日に毘森公園の見学を行った。清掃方法・清掃道具の管理方法について見学、検討を行うことができた。		

⑵管理者総評

　ＶＲふれあいの理解が深まり利用者の皆さんの意欲と職員の工夫する姿勢を感じることが出来ました。それにより今期の出勤率の維持に繋がりました。
仕事の場であるとの姿勢を崩すことなく、利用者の皆さんに多くの経験の場（外出体験に加え音楽鑑賞・自然観察等）を提供し自己選択・自己決定を促すことが出来る環境作りを行ったことで来期以降の可能性を確認できる１年になりました。

ジョイナスえかく ＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地　　愛知県豊田市永覚町中山畑39

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	4名
サービス管理責任者	1名	非常勤支援員	名

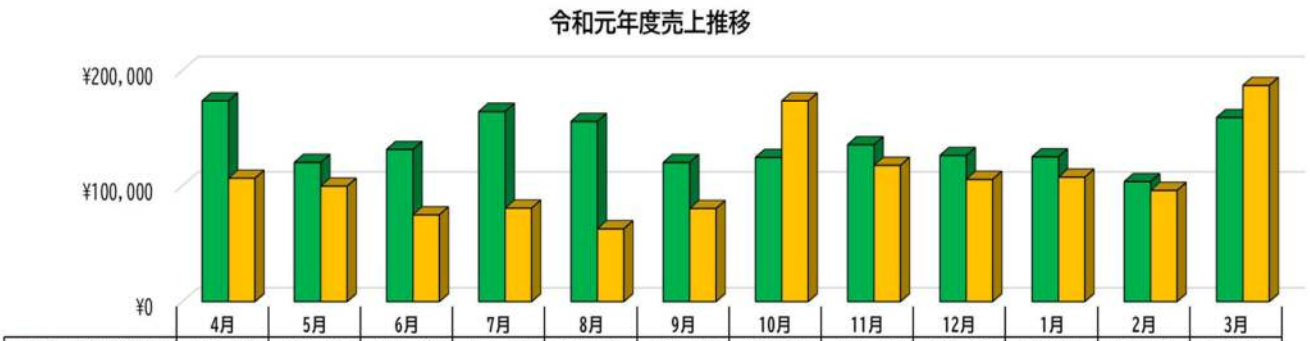
3　定員・利用人数推移

定員＝20名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	19.5名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	400	420	400	440	360	380	399	418	380	361	361	399	393.2日
月間出勤延べ日数	391	391	377	410	325	363	392	400	370	351	349	385	375.3日
出勤率	98%	93%	94%	93%	90%	96%	98%	96%	97%	97%	97%	96%	95.5%

法人全体出勤率	

4　売上推移

年間売上合計(税込)	2,928,388円	法人売上	41,299,344円	全体に占める割合	7.1%



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
請負・委託事業売上	¥173,743	¥120,116	¥131,283	¥164,000	¥155,506	¥120,066	¥124,377	¥135,462	¥126,058	¥124,959	¥103,541	¥158,816
自主事業売上	¥106,400	¥99,608	¥74,864	¥80,680	¥62,848	¥80,300	¥173,690	¥117,610	¥105,505	¥107,398	¥95,955	¥187,043

5　平均工賃

当事業所平均工賃	7,248円／人	対前年比	99.5%
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%

6　実習実績（延べ人数）

無し

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　19 名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	挨拶	手洗い	歯磨き	身嗜み	掃除
達成率（%）	70	90	80	80	70
実施度（%）	80	90	80	80	70

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
就労継続	受託作業	作業室	2453 名	2007 名	4460 名
	施設外就労	若園運動広場	87 名	72 名	159 名
	自主製品作り	活動室	320 名	156 名	476 名
	納品・集金	委託店	246 名	122 名	368 名
	バザー		17 名	19 名	36 名
	喫茶・清掃見学		4 名	5 名	9 名
計			3127 名	2381 名	5508 名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
誕生日会	誕生者のある月 9 回	163 名
花見	4 月 5 日	20 名
端午の節句	4 月 26 日	20 名
七夕会	7 月 4 日	18 名
Kokoro つなぐカフェ	8 月 22 日、1 月 23 日	14 名
外出体験	11 月 15 日・19 日・28 日	19 名
尺八の演奏会	1 月 24 日	5 名
節分豆まき	2 月 3 日	17 名
ひな祭り	3 月 3 日	18 名
お別れ会	3 月 31 日	18 名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00 ○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握
・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・健康診断の受診（6 月 25 日）
・歯科検診（11 月 14 日）
・体重測定（月 1 回）
・ラジオ体操と歯磨き（毎日）
・グループ別運動/ダンベル体操・筋トレ（随時）

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	作業室外壁、屋根塗装工事（1 回） 男子ロッカーのアコーディオンカーテン取り替え（1 回）
施設設備の保守点検委託業務	浄化槽の保守点検（3 回）・エアコン点検（2 回）・ 消火器点検（1 回）
施設設備の管理業務	清掃（稼働日）、ごみ回収（週 1 回）、資源ごみ回収（2 回）、 ワックス掛け（1 回）、保護者会草取り（1 回）、松の剪定（1 回）

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	月に 1 回	地震・火災を想定しての避難訓練
	5 月 24 日	緊急避難を想定して上郷コミュニティーまで避難経路の確認と実施
	1 月 21 日	地震時に、火災が起きた際の対応の DVD 鑑賞

10　ボランティアの受入れ

山田さちこ様	誕生日会　誕生日者の衣装提供、フラワーアレンジメント
オカリーナふるさと様	オカリナ演奏　12 月 24 日
マジックゼロ様	手品・けん玉作り　1 月 9 日

11　実習生・就労等体験の受入れ

受入学校名		実習期間	人 数
職場体験	末野原中学校	12 月 26 日	1 名
	トヨタ工業学園	12 月 16 日～17 日	2 名
実習生	三好特別支援学校	7 月 25 日～26 日	1 名

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	毎月第3木曜日	事業所活動・行事等の協議
バザー出店	10月6日	上郷GOGOフェスタ、末野原ふれあい祭り・ふれあい交流会での自主製品販売
ワックス掛け	11月23日	ダスキン
忘年会・クリスマス会	12月19日	食事会ビンゴ大会
鏡開き	1月9日	おしるこの振る舞い
布製品制作	随時	マスク、学校用品

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
地域のゴミ拾い	5月9日	ジョイナスえかく付近のゴミ拾い

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの「やってみたい！」を応援		達成率	60%
目　標	⑴利用者会を2ヶ月に1回行い、自己決定や自己選択の場をつくる事でご本人の自信に繋げ、楽しみを増やしていく。 ⑵利用者会で年間行事又は余暇活動等「やってみたい！」行事を考えて頂き利用者さん主体で行事を開催して頂く。(1個) ⑶喫茶立ち上げに向け希望者公共交通機関利用方法(年1回)、お店やバザーでの接客や買い物方法(年1回)、などの学びの機会を設け、必要スキルの向上を行う。		
結　果	⑴利用者会は7回行い、外出体験では行く場所、食事、土産など自分で選択し楽しむ機会を全員に作ることができた。 ⑵利用者会では「やってみたいこと」「えかくで欲しい物」について話合い、意見をたくさん聞くことができた。行事を主体的に行うことは難しかった。 ⑶喫茶で必要な言葉「いらっしゃいませ」「お待ちください」「ありがとうございました」等、朝の会で練習をし、喫茶について意識を高めることができた。		
② 地域への「見える化」		達成率	85%
目　標	⑴地域住民や近隣施設を交えた防災訓練に参加し事業所でも実施する。(年1回) ⑵地域にある施設（公共施設、関係機関、お店など）を活用し利用者さんを知って頂く機会をつくると共に利用者さんの学びの機会にもしていく。また地域企業からの仕事の獲得に繋げていく。(1件)		
結　果	⑴事業所での避難訓練がマンネリ化しており、地域への「見える化」にもつながっていない。地域の防災訓練等の情報もない。 ⑵・上郷交流館の「kokoroつなぐカフェ」を見に行き、関われること（イベントの準備後片付け、販売等）を提案していただく。 ・請負先に施設外清掃の話をしたところ、会社の清掃依頼をいただく。 ・委託店でボカシの勉強会を開き、18名の近隣住民に参加いただいた。利用者と生ごみ処理の実演を行い、施設や自主製品のＰＲを行う。		

③ 職員のスキルアップを図る	達成率	70%
目　標	⑴積極的に研修に参加する。研修に参加した職員は研修資料の回覧や職員会等での報告を行い情報の共有を行う事で職員全体の資質向上を図る。 ⑵喫茶立ち上げに向け担当支援員を中心に喫茶の見学、研修、現場実習を行い必要なスキルや資格を取得しノウハウを学ぶ。月 1 回の職員会や喫茶部会等で情報共有を行う。	
結　果	⑴てんかんについて（1 名）、障がい者虐待対応研修（1 名）、防火管理講習（1 名） ⑵・食品衛生責任者の資格を取得（1 名） ・管理栄養士とメニューについての会議を行い（月 1）、メニューの大枠が決まってきている。 ・えかくで喫茶会議を行い（月 1）備品の大枠は決まり、利用者さんに関わることを進めている。 ・職員全員で役割を分担し、備品選びを行う。（カタログやサンプルの取り寄せ、試飲、相見積もり）	

⑵管理者総評

喫茶開設に向けての忙しい 1 年間でしたが、それぞれの役割を分担し進めることができました。その中でも利用者さんの思いをくみ取る活動や支援員がそれぞれのスキルを高めるために外部研修会等に積極的に参加してもらいました。この 1 年間で達成できなかったことは今後の課題として取り込んでいきたいと考えます。

ジョイナスたかおか ＜生活介護＞

1　所在地　　愛知県豊田市若林西町西山18-2

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	1名
サービス管理責任者	1名	非常勤支援員	1名

3　定員・利用人数推移

定員＝6名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	1.8名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	40	42	40	44	36	38	21	22	20	38	38	42	35.1日
月間出勤延べ日数	26	27	20	23	18	19	20	22	20	34	34	39	25.2日
出勤率	65%	64%	50%	52%	50%	50%	95%	100%	100%	89%	89%	93%	71.7%

法人全体出勤率	93.2%

4　送迎管理

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
通常送迎	1	1								1	1	1	5名
合　　計	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	5名

5　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
買い物実習		2					1		1	2			6名
合　　計	0	2	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	6名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　　2名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	挨拶	歯磨き	うがい手洗い	言葉遣い	身なり	食事マナー	時間を守る
達成率（%）	85	95	95	75	80	80	70
実施度（%）	100	100	100	80	95	100	90

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数（延べ人数）		
			男	女	計
生活介護	体操	活動室	52人	211人	263人
	運動タイム	活動室	52人	211人	263人
	余暇	活動室	52人	211人	263人
	散歩	神社	5人	5人	10人
	買い物	コンビニ・ストアー	3人	3人	6人
	調理	調理室	5人	5人	10人
計			169人	646人	815人

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
誕生日会	当該月（6回）	7名
そうめん流し	8月	1名
人形劇鑑賞会	9月	1名
刈谷ハイウェイオアシス	10月	1名
地域交流会	12月	1名
喫茶会	2月	2名
ひな祭り	3月	2名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00 ○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握

・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・健康診断の受診（6 月 25 日）　結果の把握と異常がある場合には再検査を勧める。

・歯科検診（12 月 19 日）　口腔内の検診と虫歯がある場合には治療を勧める。

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	昨年度改修工事が終了し、４月より新規開設のため特になし
施設設備の保守点検委託業務	防災設備(法定点検 2 回)、空調設備（1 回)、電気設備（年 1 回）
施設設備の管理業務	清掃(毎週月～金)、ゴミ収集(毎週木)、危険物処理(年 2 回)

9　防災対策・訓練

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	6 月 28 日・3 月 30 日	火災･地震（避難先確認）

10　ボランティアの受入れ

若林地区民生委員	館内清掃（7 月、11 月）地域交流会販売補助（12 月）
若林地区福祉委員	館内清掃（2 月）
トヨタ学園	12 月

11　実習生・就労等体験の受入れ

受入学校名		実習期間	人 数
実 習 生	三好特別支援学校	6 月 17 日～21 日	1 名
	愛教大附属特別支援学校	9 月 9 日～13 日	1 名
	他事業所より	12 月、1 月	2 名

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	毎月第 3 金曜日	事業所での報告、行事等の検討
地域交流会	11 月 24 日	余剰品の販売、食品販売
そうめん流し	8 月	たかおか G 全員参加
観劇会	9 月	ぐーちょきぱー劇団招聘
クリスマス会	12 月	クリスマスプレゼントとビンゴゲーム
送別会	3 月	

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立証活動	随時	立哨活動
エコキャップ	随時	年２回納入
みどりの郷活動	春と秋の２回	地域の方と農道のごみ拾い
集団回収	随時	倉庫の整頓

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの「やってみたい！」を応援		達成率	90%
目　標	⑴農業・絵・習字・歌・その他創作活動等を通して利用者さんの好きなことをご本人と密景気活動の意欲や自信につながるよう、また、落ち着いて過ごすことができるよう環境作りをする。 ⑵日頃からご本人の意見や希望を伺い、ご本人の自己選択、自己決定ができるよう支援していく。		
結　果	男性利用者さんより喫茶会を開きたい、女性利用者さんよりホットケーキを作りたいとの意思表示があり B 型の利用者さんとともに会を開き（それぞれ各１回）楽しい時間を過ごすことができた。室内環境を整えるために利用者さんの思いを取り入れ一緒に装飾を行った。		
① 情報の共有化と事業連携の強化		達成率	75%
目　標	ジョイナスたかおかで行われているフェルト製品等自主製品作り活動や請負作業への取り組み、また地域交流会や若林交流館祭に繋がる行事に参加。		
結　果	フェルトの製品作りには参加することができなかったが、請負事業のパッキン付けを年度途中から訓練の一環として取り入れた。また、地域交流会が盛大に行えるよう飾りつけや清掃に参加する。		
② 地域への「見える化」		達成率	90%
目　標	⑴ホームページを毎月更新し日ごろの様子を知っていただく。 ⑵地域行事への参加、民生児童委員、福祉委員との交流		
結　果	⑴作成担当がはっきりしなかったために数少ない回数で終わってしまった。 ⑵地域の方と農道清掃、民生、福祉委員さんとの交流会、交流館祭、交流会のチラシ配布、交流会での販売など地域の方との交流ができた。		

⑵管理者総評

平成 31 年 4 月からの新しい事業の開設で B 型事業とは違って不慣れなことが多く利用者さんには多くの迷惑をかけました。しかし、支援員全員で利用者さんが安心して楽しく過ごすことができるようにと力を合わせ活動室の飾りを作り、好きなことに取り組めるようにと物をそろえるなど環境つくりに力を注ぎました。開設当初は環境が変化したことにより落ち着きを失った方もあり、日々支援員も葛藤しながらの毎日でした。月日が過ぎるにつれ支援員の思いも伝わるようになり落ち着いて生活することができるようにもなってもらいました。

支援員の努力と頑張りに感謝します。

ジョイナスたかおか ＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地　　愛知県豊田市若林西町西山18-2

2　職員体制

管理者	1名	常勤支援員	2名
サービス管理責任者	1名	非常勤支援員	1名

3　定員・利用人数推移

定員＝20名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9.0名
開所日数	20	21	20	22	18	19	21	22	20	19	19	21	20.2日
月間稼働延べ日数	180	189	180	192	162	171	189	198	180	171	171	189	181.0日
月間出勤延べ日数	179	189	179	191	153	166	186	193	180	169	171	189	178.8日
出勤率	99%	100%	99%	99%	94%	97%	98%	97%	100%	99%	100%	100%	98.8%

法人全体出勤率	93.2%

4　売上推移

年間売上合計(税込)	2,402,867円	法人売上	41,299,344円	全体に占める割合	5.8%

5　平均工賃

当事業所平均工賃	10,413円／人	対前年比	128.0%
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%

6　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
買い物実習								9			9		18名
合　　計	0	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	0	18名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　　9名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	挨拶	歯磨き	うがい手洗い	言葉遣い	身なり	食事マナー	時間を守る
達成率（%）	80	95	95	60	75	80	70
実施度（%）	90	95	95	70	80	85	95

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数(延べ人数)		
			男	女	計
就労継続	樹液シート袋入れ	作業室	732名	357名	1089名
	集団回収･整頓	各企業	552名	36名	588名
	パッキン付け	作業室	90名	45名	135名
	部品組み立て	作業室	1440名	720名	2160名
	シール貼り	作業室・	30名	30名	60名
計			2814名	1188名	4002名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
誕生日会	当該月（6回）	54名
そうめん流し	8月	9名
人形劇鑑賞会	9月	9名
買い物実習	２回（8月・11月）	18名
地域交流会	11月	9名
喫茶会	2月	9名
ひな祭り	3月	9名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00　○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握

・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・健康診断（6 月 25 日)、　結果の把握と異常がある場合には再検査を勧める。

・歯科検診（12 月 19 日）　口腔内の検診と虫歯がある場合には治療を勧める。

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	駐車場東側入り口凹凸のため安全を考慮し修理する。
施設設備の保守点検委託業務	防災設備(法定点検２回)、空調設備(１回)、電気設備(年１回)
施設設備の管理業務	清掃（毎週月～金)、ゴミ収集（毎週木)、危険物処理（年２回）

9　防災対策・対策

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練	6 月 28 日・3 月 30 日	火災･地震（避難先確認）

10　ボランティアの受入れ

若林地区民生委員	館内清掃（7 月、11 月）地域交流会販売補助（11 月）
若林地区福祉委員	館内清掃（2 月）
トヨタ学園	トヨタ自動車（11 月）
愛教大学生	8 月

11　実習生・就労等体験の受入れ

受入学校名		実習期間	人 数
実 習 生	愛教大附属特別支援学校	10 月 9 日～11 日	1 名
	育成会以外の事業所より	10 月 23 日・24 日	1 名
	豊田市立末野原中学校(職場体験)	6 月 12 日～14 日	1 名

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	毎月第 3 金曜日	事業所での報告、行事等の検討
地域交流会	11 月第 4 日曜日	余剰品の販売、食品販売
そうめん流し	8 月	たかおか G の全員参加そうめん流し
観劇会	9 月	ぐーちょきぱー劇団招聘
クリスマス会	12 月	クリスマスプレゼントとビンゴゲーム
送別会	3 月	

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
集団回収	随時	近隣のご家庭、地域のお店、企業等の資源回収
交通安全立哨活動	毎月交通事故 0 の日	立哨活動
歩道清掃活動	春と秋に各 1 回程度	歩道の草刈り、土よけ
エコキャップ	随時	年 2 回納入
みどりの郷活動	春と秋の２回	地域の方と農道のゴミ拾い

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの「やってみたい！」を応援	達成率	90%
目　標	⑴作業にプラスして、部品の運搬や作業の準備片づけを支援員とともにやってみたいという思いをくみ取る。 ⑵細分化を行って作業にプラスαの内容にもかかわっていただく環境を作る。	
結　果	請負先の自動車が事業所に着くと支援員よりも先に「来たよ」と声をかけてくれる方が現れ、その声に合わせて搬入の列を作る方も増えてきた。また、台車に箱を乗せ、所定の場所まで動かすこともできるようになった。作業工程を何度も見直し、昨年度までは関わることができない方も参加できるようになり、作業時間の短縮とともに意欲の向上にも繋がった。	
②情報の共有化と事業連携の強化	達成率	70%
目　標	トヨタ自動車ボランティアセンターと連携を取り自主製品の質の向上を目指していく。また、ボランティア情報交換会を通して他ジャンルの施設や人と情報を共有する。部会を通して、法人内でそれらの情報を共有していく。	
結　果	トヨタ自動車ボランティアセンターには昨年度と同じ羊毛のごみ取りとほぐしにプラスして簡単な作品作りを相談したがうまく軌道に乗せることができなかった。自主製品作り事業所内で協力し合っているうちに昨年度までとは違った作品を作ることができるようになった。他事業所や企業との情報交換は昨年度まで担当していた支援員の退職により少なくなってしまった。	
③地域への「見える化」	達成率	70%
目　標	⑴Ｊたかおかの近隣施設へ資源回収に伺い、声を掛け合い地域との繋がりを深めていく。また、資源回収に関する看板・チラシを作成し事業所のＰＲにつなげていく。 ⑵高岡コミセンにある高岡コミュニケーションソーシャルワーカーと連携を取り地域の浸透を図る。	
結　果	資源回収に全員の方の参加を目指し回数を重ねてきた結果８人の方が参加できるようになった。回収先で「この方はよく頑張っているよ」と回収先の方に誉め言葉をもらうことも増えてきた。看板の設置はできなかったが、チラシを５００枚ほど地域の家庭を回って配布することができた。たかおかSCWとの連携は担当者が移動になったことや地域交流会の開催日変更によりコラボすることはできなかった。	

⑵管理者総評

新しい利用者２名を迎え９名でスタートした。年度内での支援員の入れ替わりもあったが、利用者さんに影響を及ぼさないよう職員会等で日々の情報交換の場を設け１年間を乗り切った。

集団回収では、全利用者さんの参加を目標に掲げ、地域との交流を図る等の成果を上げた。

しかし、中心となる作業量の減少や集団回収の単価が大幅に下がり、月ごとの売上額が大幅に落ち込んでしまうなどアクシデントもあったが、利用者・職員で協力し目標達成に向け努力した１年間だった。

ジョイナスたかおか 毘森公園＜就労継続支援Ｂ型＞

1　所在地

愛知県豊田市小坂町1-41

2　職員体制

管理者兼 サービス管理責任者	1名	常勤支援員	1名

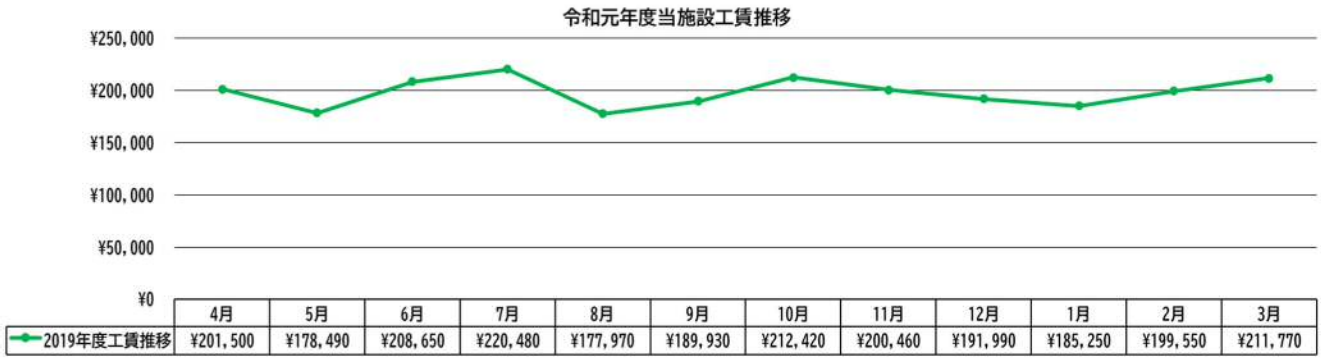
3　定員・利用人数推移

定員＝10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
登録利用者数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7.0名
開所日数	20	19	21	22	19	20	21	21	19	19	20	20	20.1日
月間稼働延べ日数	140	133	147	154	133	140	147	147	133	133	140	140	140.6日
月間出勤延べ日数	139	132	146	153	132	135	146	146	125	129	139	139	138.4日
出勤率	99%	99%	99%	99%	99%	96%	99%	99%	94%	97%	99%	99%	98.5%

法人全体出勤率	93.2%

4　平均工賃

当該施設平均工賃	28,315円／人	対前年比	101.1%	3屋外施設平均	28,696円／人
法人全体平均工賃	13,843円／人	対前年比	100.2%		



5　実習実績（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均
買い物実習	7	7	7	7	7	7	7	7		7	7		70名
合　　計	7	7	7	7	7	7	7	7	0	7	7	0	70名

7　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　　7名

⑵日常生活支援

生活支援の項目	挨拶	歯磨き	うがい手洗い	身なり	お茶の用意/片付け
達成率（%）	65	80	100	100	95
実施度（%）	95	100	100	100	100

⑶日中活動支援

種 別	活動内容	活動場所	参加利用者数(延べ人数)		
			男	女	計
就労継続	公園内ゴミ拾い	公園全域	1659名	0名	1659名
	公園内掃き掃除	公園全域	1393名	0名	1393名
	除草作業	公園規定場所	1162名	0名	1162名
	室内清掃	弓道場・野球本部席・2階会議室	336名	0名	336名
	その他室内作業	休憩室	70名	0名	70名
計			4620名	0名	4620名

⑷余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
お楽しみ会	利用者誕生月　（年5回))	35名
買い物実習	適時（実績10回）	70名
図書館訪問	毎月　（10回）	70名
たかおかとの交流会	適時（実績3回）	21名

⑸食事

昼食形態	【食事時間】 昼食：12：00～13：00　○昼食は弁当方式（個人により持参または注文）

⑹健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	地域医療センター
緊急時	救急車対応

・かかりつけ医の把握

・医療機関と連携した通院　なし

②健康管理

・健康診断（6月21日）

・歯科検診（12月19日）

8　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	豊田市体育協会が担当
施設設備の保守点検委託業務	豊田市体育協会　昆森公園管理事務所が担当
施設設備の管理業務	豊田市体育協会　昆森公園管理事務所が担当

9　防災対策・対策

実施項目	実施日	実施内容
避難訓練・防火訓練	毎月 20 日実施（12 回） 7 月・11 月実施（公園合同）	施設内・作業中に地震及び火事が起きた時の対応について避難・防火活動訓練。応急手当訓練。

10　ボランティアの受入れ

・実施無し

11　実習生・就労等体験の受入れ

・実施無し

12　保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会定例会	偶数月（6 回）	主催行事の協議、事業所の様子を連絡する。
食事会	8 月・12 月（2 回）	昼食会（保護者会後）
カラオケ	8 月・12 月（2 回）	昼食会後、カラオケを皆で行う。

13　社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
小坂自治区ゴミ拾い	月 1 回（12 回）	公園外、自治区周辺のゴミ拾いを行う。
交通安全立哨活動	月 1 回（12 回）	公園付近の交差点での交通安全立哨活動。

14　まとめ

⑴重点目標結果

①利用者さんの「やってみたい！」を応援		達成率	95%
目　標	⑴作業を通じて利用者さんの挑戦できる作業器具や機会を増やし、得意なことを見つけ自分に自信を持ち、やりがいや喜びを実感していただき意欲向上につなげていく。 ⑵日頃からご本人の意見や希望を伺いご本人の自己選択･自己実現ができるような支援をしていく。		
結　果	⑴利用者さんの得意とすることや適性により作業場所、作業内容を考え提供することで、利用者さんが『自分だけに任されたこと』と捉え責任を持って作業されやりがいを感じられ、「できました」と自信を持って報告できた。 ⑵作業内容、作業場所、外出行事や日々の事業所内のことで利用者さんに説明し意見を求め反映できる場面が増えた。また自分たちで決めることで責任を持って取り組めるようになった。		
②情報の共有化と事業連携の強化		達成率	90%
目　標	⑴公園管理事務所と意見交換の場を作り情報共有に努め、作業手段や作業場所の質の向上、拡大を図る。年 2 回管理事務所と合同の避難訓練を行う。 ⑵たかおかで行われている自主製品活動やバザーに参加。		
結　果	⑴現場で公園管理事務所の方と随時、情報交換を行い、新しい作業場所・内容の提案をいただいた。また、作業の仕方について意見をもとに、時には一緒に作業を進めることができた。年 2 回合同避難訓練に参加し、救急救命の講習も受けられた。 ⑵利用者さんは、ご家族の協力のもと毘森公園の資源回収時に運搬の手伝いができた。ガーデニングフェスタでは、たかおかの自主製品も販売できた。		
③地域への「見える化」		達成率	90%
目　標	⑴清掃活動を通じて、公園を利用されるお客様や地域の方々に挨拶活動を行う。 ⑵育成会だよりを交流館・民間に持参し活動を知っていただく。 ⑶ホームページを毎月更新し作業や日ごろの様子を知っていただく。		
結　果	⑴公園内でのお客さんへ挨拶の徹底や、月 1 回自治区のごみ拾い時、月 1 回交通安全立証活動を行い自治区の方に挨拶する機会を設け、お客さんや自治区の方から「いつもご苦労様」と声をかけられることも多くなった。 ⑵区民館に広報を持参。回覧版にて配布をお願いした。その際も利用者さんが窓口に行き挨拶をして手渡すことができた。 ⑶ブログにて、公園内の様子や清掃活動の様子がお知らせできた。		

⑵管理者総評

利用者さんの「やってみたい」を応援では、利用者さんの自主性に働きかける支援に重点を置いた。ご本人の希望や意思を引き出し様々な場面に反映した結果、新たな自己実現の体験を通した達成感ややりがいを多く感じていただけた。作業に関しては、個々の得意分野を活かした作業の見直しを図れた。

公園内・自治区内など地域においては、挨拶を沢山することで存在感を示すことができた。

地域生活支援センター＜相談事業＞

1　所在地　　愛知県豊田市司町3-61-1

2　職員体制

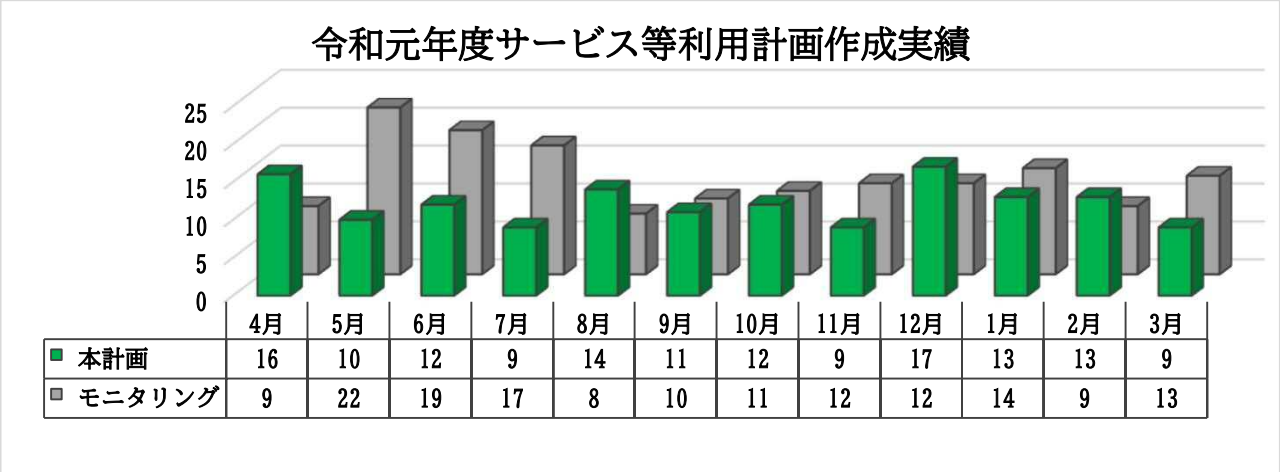
管理者(兼)	1人	常勤支援(兼)	1人
相談支援専門員（兼）	5人		

3　事業名

①児童福祉法による指定障害児相談支援事業
②障害児総合支援法による指定特定相談支援事業
③相談事業(会員による会員のための相談、日常生活、将来、困り事、知りたい事など)

4　サービス等利用計画作成実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本計画	16	10	12	9	14	11	12	9	17	13	13	9	145
モニタリング	9	22	19	17	8	10	11	12	12	14	9	13	156



(1) サービス等利用計画の策定、モニタリング
ジョイナスの利用者、その他育成会会員の契約利用者からの依頼により、家庭訪問・三者面談・再アセスメントを行い、サービス等利用計画の策定、モニタリングを実施。

(2) まとめ
・サービス等利用計画の継続更新作成により必要な福祉サービスについて充分相談を行い、必要とされる適切なサービス利用の情報を提供していく。
・目標を達成・解決できるよう、利用者さんの希望をしっかり聞き取り、支援の提供ができる様にしていくことが重要。
・福祉サービス利用について、施設入所・短期入所・グループホーム・移動支援等の各事業所の空きが少ない、支援員・世話人・ヘルパーが不足している状況は続いているため、利用し難いという課題がある。介護判定を受けた方は、介護サービスの利用を検討し、介護保険サービス事業所の利用開始に伴い移行していく。

5　まとめ

⑴重点目標結果

①情報の共有化と事業所連携の強化	達成率	70%
目　標	⑴希望や必要に添った福祉サービスの利用の申請、変更の提案、援助 ⑵福祉サービス事業所について情報提供 ⑶相談支援連絡会の参加	
結　果	⑴障がい基礎年金受給申請の相談者に対し、書類等作成補助や西三河児童・障がい者相談センターへ連絡・同行などを行った結果申請が認められ、令和 1 年 6 月から障がい基礎年金 2 級の支給が開始された。 ⑵保護者さんの手術・家事都合等により、短期入所受給増・地域生活支援デイ利用・共同生活援助利用・生活介護利用等受給の為、視覚障害により長期欠席⇒生活介護・就労継続Ｂを合わせて受給。通所等の都合により、生活介護(新規受給・区分判定)・就労継続Ｂを合わせて利用の受給申請・契約等の相談を行う。介護判定を受けた方は、介護サービスへの移行・利用等について相談を行っている。	
②利用者さんの希望に合わせた、サービス等利用計画策定	達成率	95%
目　標	⑴サービス等利用計画約 130 名、モニタリング約 160 回を定期的に実施する ⑵利用者さんやご家族の意思・希望を充分聞き取り利用計画を策定する	
結　果	⑴サービス等利用計画 145 件、モニタリング 156 回を行った。 令和元年度は新入所者 8 名中 6 名計画相談の契約を行い、計画作成と当初 3 ヶ月のモニタリングの作成を行った。期間途中の短期入所・生活介護などの受給変更が 7 名で 10 件位あり多かったこともあり、サービス等利用計画・モニタリングの作成件数が予定より 10 件程増えている。 ⑵面談時には、本人・保護者さんの希望される福祉サービス受給について、充分聞き取り情報を提供しサービス等利用計画を作成した。	
③相談支援にかかる職員の資質向上	達成率	80%
目　標	サービス等利用計画の作成技術の習得、利用計画に基づいた個別支援計画の策定	
結　果	サービス等利用計画の作成は、モニタリングや再アセスメントを行い、障がい福祉サービスの利用、受給変更、支援目標について希望を確認している。 相談支援連絡会、職員研修、その他研修に随時参加。個別支援計画等策定部会・相談支援会議にて新規情報や変更事項など随時報告説明を行い、各ジョイナス職員会にて職員全体で共有できるようにしている。	

⑵管理者総評

地域で暮らしを支えるサービス等利用計画は、相談支援の根幹をなすもので、28 年度から始まったこの制度も定着しつつあります。しかし、利用する人に活用の温度差があります。今後は、相談支援の更なる活用を進めていきます。

ヘルパーステーション＜居宅介護・地域生活支援事業＞

1　所在地

愛知県豊田市司町3-61-1

2　職員体制

管理者	1人	常勤支援員	1人
サービス提供責任者	2人	パートヘルパー	7人
		ヘルパー応援職員	14人

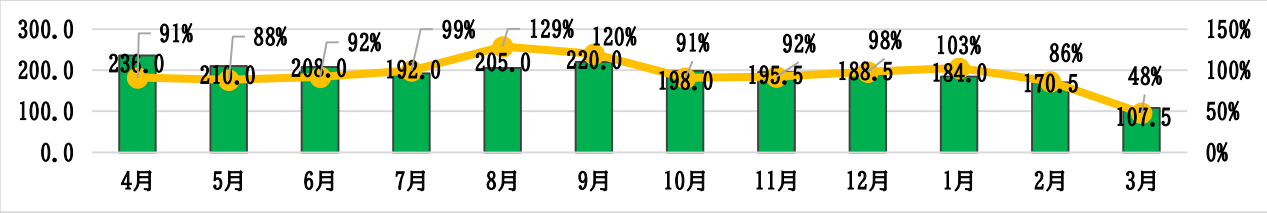
3　事業名

①介護給付事業(居宅介護事業、重度訪問介護事業)
②地域生活支援事業(移動支援事業、相談支援事業)

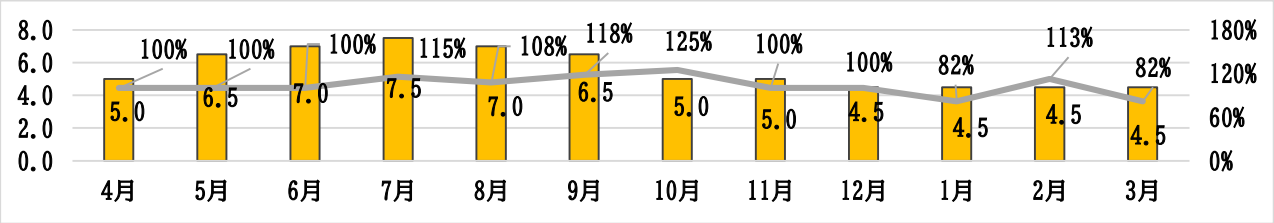
4　事業別実績

＜単位：時間＞

【移動支援】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和1年度実績	236.0	210.0	208.0	192.0	205.0	220.0	198.0	195.5	188.5	184.0	170.5	107.5	2315.0
対前年比	91%	88%	92%	99%	129%	120%	91%	92%	98%	103%	86%	48%	93.2%
平成30年度実績	259.5	238	226.5	193.0	159.0	183.5	218.5	212.0	192.0	179.5	198.0	224.0	2483.5



【居宅介護】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和1年度実績	5.0	6.5	7.0	7.5	7.0	6.5	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	67.5
対前年比	100%	100%	100%	115%	108%	118%	125%	100%	100%	82%	113%	82%	103.1%
平成30年度実績	5.0	6.5	7.0	6.5	6.5	5.5	4.0	5.0	4.5	5.5	4.0	5.5	65.5



5　障がい程度区分利用状況

＜単位：名＞

障がい程度区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度実績
区分A(内児童数)	21	21	20	22	18	22	21	19	22	18	19	14	237
	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
区分B(内児童数)	7	6	7	5	5	5	5	4	3	3	4	3	57
	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	1	1	9
区分C(内児童数)	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	28	28	27	27	23	27	26	24	26	21	23	17	297
	2	2	2	2	1	2	1	1	0	0	1	1	15

6　まとめ

⑴重点目標結果

①個々のスキルアップを図る支援の明確化		達成率	85%
目　標	定期的にモニタリングを必要に応じて行い、相談支援専門員や他の事業所と連携を取りながら利用者個々のスキルアップを図るための支援内容を提示します。		
結　果	・個別支援計画作成の面談を行い、現状の様子や支援内容を確認し、ヘルパー不足に現状をお伝えした上で支援内容を提示した。 ・場合によっては、相談支援専門員や他事業所と連携を取りながら支援を提供した。		
②パートヘルパーの人員確保		達成率	75%
目　標	介護職員初任者研修の資格補助制度を知ってもらう為、ブログやイベント等でのチラシ配布などを活用し、幅広く人材募集する。		
結　果	ふれあい交流会などでチラシを配布したり、ブログやホームページ、会員だよりに掲載したり、現在活躍中のヘルパーさん、ヘルパーステーションを利用されている方に知り合いを紹介して頂くお願いを何度もしたが、問い合わせが無かった。		
③ヘルパーの資質向上		達成率	90%
目　標	ヘルパー一人ひとりが利用者さんのニーズや満足度を把握し、各種研修会等へ参加を促し、資質の向上・研鑽に努めます。		
結　果	・月１回のヘルパー会議と権利擁護の研修、感染症予防の研修を行った。(3 月は新型コロナウイルス肺炎感染予防の為、会議は中止) ・欠席したヘルパーさんには議事録を郵送した上で個別に対応した。		

⑵管理者総評

職員の応援体制など図りながら現利用者の移動支援を始めとして、居宅支援を行ってきていますが、サービス等利用計画による利用ニーズに応えられずに、毎年のこととしてヘルパーさんの確保が課題です。利用希望が多く地域支援の要と言えるこのサービスの存続にも影響している。

ひらしばの家＜共同生活援助＞

1　所在地　　愛知県豊田市平芝町4丁目21番地1

2　職員体制

管理者兼 サービス管理責任者	1人	常勤支援員(兼)	1人
		世話人	4人

3　事業名

共同生活援助事業

4　定員・利用人数推移　　利用者性別（男性）

定員＝6名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
登録利用者数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6.0名
稼働日数	20	20	20	22	18	19	21	20	20	19	19	21	19.9日
月間稼働延べ人数	120	120	120	132	108	114	126	120	120	114	114	126	119.5名
月間利用延べ人数	87	92	94	103	93	106	100	103	102	88	94	91	96.1名
利用率	73%	77%	78%	78%	86%	93%	79%	86%	85%	77%	82%	72%	80.4%

5　支援業務

⑴個別支援計画の策定

・利用者全員　6名

⑵日常活動支援

生活支援の項目	入浴	洗濯	掃除	食器洗い	整容	あいさつ
達成率(%)	90	95	80	100	80	90
実施度(%)	100	100	100	100	100	100

⑶余暇活動支援（行事・旅行等）

余暇活動の種類	時期・回数	参加利用者数
買い物体験	12回　毎月	6名
クリスマス会	1回　12月	6名
誕生日会	4回　4､5､12､2月	6名
ランニング・ウォーキング	不定期	6名
鏡開き	1回　1月	6名
調理実習	1回　7月	6名

⑷食事

食事形態	【食事時間】 朝食：06：30～07：00 夕食：18：00～19：00

⑸健康管理

①医療機関との連携

診療科目	病 院 名
総　合	豊田地域医療センター
緊急時	救急車対応

②健康管理

・歯磨き支援、歯ブラシ消毒
・入浴(洗身、洗髪)支援
・服薬確認
・検温

6　施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	居室壁修繕、網戸修理
施設設備の保守点検委託業務	消防用設備保守点検
施設設備の管理業務	施設内清掃(毎日),大掃除(年 1 回),草取り(年 3 回)

7　防災対策

(1) 防災訓練

・グループホームの避難経路の説明を行い、地震を想定して避難訓練を実施した。
・防災食体験としてﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙの水をｶｾｯﾄｺﾝﾛで沸し、ｲﾝｽﾀﾝﾄ食品を作り夕食とした。

8 保護者会活動

活動名	活動時期	活動内容
保護者会	4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、2 月	定例会

9 社会貢献活動

活動名	活動時期	活動内容
交通安全立哨活動	5 月、12 月	交通安全の呼びかけ等
自治区環境美化活動	6 月、9 月	近隣の草取り
環境美化活動	6 月、9 月	近隣のゴミ拾い

10　まとめ

⑴重点目標結果

①　地域への見える化		達成率	90　%
目　標	⑴利用者・職員共に地域活動に参加し、地域との交流を行う機会を増やし、ひらしばの家の活動に対する理解を深めます。 ⑵ブログを最低月 2 回は更新し、事業所の活動に対しての理解を深めます。		
結　果	⑴ひらしば自治区の交通安全立哨活動やごみ立哨活動には可能な限り全員が参加できた。近隣の方が利用者の方の顔を覚えてくださり、話しかけてくださるようになった。 ⑵定期的にブログの更新を行うことができたが、掲載した写真で利用者の方が特定され、掲載内容に対しての課題が残った。		
②　利用者の「やってみたい！」を応援		達成率	90 %
目　標	⑴利用者会議を月 1 回開催し、会議の中で利用者主体の行事(外食・防災体験等)を企画していきます。 ⑵日々の生活の中で清掃や活動の準備など、利用者主体で行えることを職員から提案し、自己決定・自己選択を勧めて満足度向上につなげていきます。		
結　果	⑴毎月利用者会議を開催した。利用者の方の希望で新たに買い物体験を行うこととなった。また、調理実習(やきそば作り)を企画し、メニューを決め調理・片づけまで行っていただいた。 ⑵居室の清掃だけでなく、共有部分の掃除や外回りの落葉集めなどを自主的に行ってくださるようになった。防災食体験の際には、準備・片づけまで行えるようになった。		
③　利用者の長所を伸ばす支援		達成率	85 %
目　標	活動(清掃・余暇等)の中で入居者の方の特性に応じた支援を行い、より良い生活をおくることができるようにしていきます。		
結　果	寝具の手入れ(ｼｰﾂの洗濯、布団乾燥機の使用)の支援を行うことで、全員の方がｼｰﾂ交換をできるようになった。買い物体験ではご自分が必要としているものを考えながら商品の選択ができるようになった。		

⑵管理者総評

グループホームでの生活も 3 年目に入り、みなさんの生活に周りを見る余裕がでてきた様子です。ご自分のことだけでなく、洗濯機・乾燥機の使用の順番やお風呂の掃除をお知らせし、食事の際にお茶を回すなど、他の方への配慮が自然にできるようになりました。今年度はみなさんの希望により、買い物体験を月 2 回行うようにしたところ、生活用品や嗜好品をご自分で選び、購入できるようになってきています。自分のことは自分でやるという‘あたりまえの生活’を意識せずに行える雰囲気になってきていることを感じます。

豊田市育成会の誓い

社会福祉法人豊田市育成会は、運動体と事業体が協力して、本人や家族の地域生活を支えていきます。

1 地域と結び関係団体と連携した活動で、
「安心してすごせる」地域づくり、場づくりをめざします。

2 自主的で主体的な活動を保障して、
「夢や願いがかなう」地域づくり、場づくりをめざします。

3 主人公として豊かな生活と発達保障をして、
「笑顔が絶えない」楽しい地域づくり、場づくりをめざします。

安心　夢　笑顔

社会福祉法人豊田市育成会
事業計画策定部会

〒471-0831
愛知県豊田市司町３丁目61番地の１
TEL：0565-77-5611／FAX：0565-77-3557
E-mail：t-ikuseikai@hm.aitai.ne.jp
https://t-ikuseikai.jp/

令和２年５月発行